

# 若者の地方体験交流の ご案内（2016年度版）



地域づくり

田舎暮らし

仕事体験

おいしい空気、きれいな水

第2のふるさとづくり

国土交通省 国土政策局 地方振興課

国交省HPはこちら



URL: [http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd\\_chisei\\_tk\\_000007.html](http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html)

# 募集地域一覧

国土交通省が把握した募集地域を案内するものです。

## 応募上の注意

- ここに掲載されている地域での体験に関するお問合せ、参加申込などは、各地域の担当者宛にお願いいたします。問い合わせ先は、募集要項にあります。
- 必ず希望する地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間、料金等）をご確認の上、直接ご応募下さい。

No. 1	北海道ニセコ町	No. 26	新潟県上越市	No. 51	奈良県下市町
No. 2	北海道当麻町	No. 27	新潟県上越市	No. 52	奈良県川上村
No. 3	北海道遠別町	No. 28	新潟県佐渡市	No. 53	奈良県東吉野村
No. 4	北海道遠軽町	No. 29	新潟県佐渡市	No. 54	和歌山県田辺市（ ）
No. 5	北海道平取町	No. 30	新潟県佐渡市	No. 55	和歌山県田辺市
No. 6	北海道浦河町	No. 31	新潟県佐渡市	No. 56	和歌山県紀美野町
No. 7	青森県	No. 32	新潟県粟島浦村	No. 57	和歌山県広川町
No. 8	青森県弘前市	No. 33	富山県高岡市	No. 58	和歌山県日高川町
No. 9	青森県十和田市	No. 34	富山県高岡市	No. 59	鳥取県鳥取市
No. 10	宮城県栗原市	No. 35	富山県高岡市	No. 60	岡山県美作市
No. 11	宮城県大崎市	No. 36	富山県高岡市	No. 61	山口県岩国市
No. 12	山形県小国町	No. 37	富山県高岡市	No. 62	山口県長門市
No. 13	福島県会津若松市（ ）	No. 38	富山県滑川市	No. 63	山口県周防大島町
No. 14	福島県喜多方市	No. 39	福井県福井市	No. 64	徳島県美波町
No. 15	福島県川俣町	No. 40	福井県勝山市	No. 65	愛媛県今治市
No. 16	福島県猪苗代町	No. 41	福井県越前市	No. 66	愛媛県宇和島市
No. 17	福島県小野町（ ）	No. 42	山梨県小菅村（ ）	No. 67	長崎県対馬市
No. 18	茨城県潮来市	No. 43	長野県松本市	No. 68	長崎県小値賀町
No. 19	千葉県八街市	No. 44	長野県小海町	No. 69	熊本県宇城市
No. 20	新潟県長岡市	No. 45	岐阜県御嵩町	No. 70	熊本県宇城市
No. 21	新潟県三条市	No. 46	三重県津市	No. 71	熊本県宇城市
No. 22	新潟県新発田市	No. 47	三重県松阪市	No. 72	熊本県五木村
No. 23	新潟県小千谷市	No. 48	三重県松阪市	No. 73	大分県大分市
No. 24	新潟県十日町市	No. 49	京都府綾部市		
No. 25	新潟県燕市	No. 50	兵庫県姫路市		

注 参加申込書は最終ページにあります。なお、上記で（ ）がある市町は指定の参加申込書で応募してください。

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 1 : 北海道ニセコ町<sup>ちょう</sup> (人口: 5,065人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・ JR函館本線：札幌駅～ニセコ駅(約160分)
  - ・ 都市間バス：札幌～ニセコ(約170分)
- いずれも本数が少ないので注意してください。

(2) 事業実施の目的等

「さまざまなまちや人々との連携」を主旨に、全国各地から大学生を受入れ、町民・職員との交流や意見交換の中から、まちづくりのヒントや情報を得るとともに、地域の活性化を図ることを目的としています。

(3) 体験の内容

- ・ 自主的なテーマ設定のもとでの地域調査及びまちづくりへの提言
  - ・ 地域イベント(神社祭りなど)への参加と協力
  - ・ 農作業体験
- など

(4) 受入主体

ニセコ町

(5) 受入期間

期間指定2週間(8月中旬～下旬を予定)  
 詳しい日程については、決まり次第、ニセコ町ホームページでお知らせします。

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：本人負担 宿泊費：町が指定する宿泊施設の場合 一泊3,500円(うち1,500円は町から補助があります) 食事代：本人負担
<b>要件</b>	ニセコ町での研修は、原則、「自ら考えて行動すること」を基本とします。地方での活動・地域づくりに関心があり、自主的に取り組むことができる意欲と行動力のある学生を望みます。
<b>応募締切り</b>	お問合せください。
<b>宿泊施設</b>	町内宿泊施設(ペンションなど)を紹介予定。
<b>食事形態</b>	町からの提供なし。宿泊施設に依頼可(本人負担)。
<b>その他</b>	汚れてもいい服装、長靴を用意してください。 自転車の貸出あり。

(7) 地域担当者から一言

ニセコ町では、町の独自事業としてインターンシップを実施しています。期間の指定など条件はありますが、意欲のある学生の来町をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名	ニセコ町	担当部署	企画環境課経営企画係
(ふりがな)	やもと	TEL	: 0136-44-2121 (代表)
担当者氏名	矢元 あみ	FAX	: 0136-44-3500
E-mail : kikaku@town.niseko.lg.jp			
URL : <a href="http://www.town.niseko.lg.jp/machitsukuri/torikumi/post_168.html">http://www.town.niseko.lg.jp/machitsukuri/torikumi/post_168.html</a>			
応募宛先	〒048-1595 北海道虻田郡ニセコ町字富士見47番地		

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

とうまちょう

## - 2 : 北海道当麻町 (人口: 6,781 人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

受け入れ主体の当麻町(農業振興課)庁舎所在地まで、旭川空港から自家用車で30分、または、JR石北線当麻駅下車徒歩1分

### (2) 事業実施の目的等

北海道のど真ん中、大雪山の麓に広がるこの当麻町の各所で行われる、人と仕事と風土を知るための体験活動から、この町ならではの魅力を感じ取っていただき、その魅力を生かした新たな地域づくりとは何か、この町の生活者とは異なる視点・見方で発見していただき、今後のまちづくりの一案とさせていただけることを期待しています。

また、貴重なこの経験から、当麻町が皆さんの第2のふるさとになることを念願しています。

### (3) 体験の内容

農業体験・・・北海道一の米産地であるとともに、「でんすけすいか」などの施設野菜や花の栽培が盛んな当麻町の基幹産業である農業について、野菜の栽培から出荷まで農家が行う一連の作業を体験します。

福祉体験・・・国内におけるノーマライゼーション運動を牽引する社会福祉法人当麻かたるべの森が所有する22畝の癒しの森「かたるべの森」にて、同法人のアウトドア事業セクションの補助スタッフとして、知的ハンディを持つ同森利用者の支援に当たります。

資源調査・・・上記体験分野をはじめ、環境・観光等あらゆる資源のまちづくり案を町職員と検討します。また、単一の町だけに止まらない広域的な地域づくりを検討する観点から、近郊の観光地への訪問、または、大雪山トレッキングを行う等して広域的な観光資源や自然資源、さらには、まちづくり策の掘り起こしも行います。

地域行事参画・・・地域で行われる大小イベントに参加し、幅広い交流を図ります。

体験報告会・・・体験調査活動の報告会を行います。

### (4) 受入主体

当麻町

### (5) 受入期間

7月下旬から8月下旬までの間の連続2～3週間で調整

### (6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費・食事代・交流会費・資源調査時施設入館料等：自己負担はなし
要件	20歳代の都市圏に在住する大学生・大学院生。 生産活動としての農業をはじめ、農と福祉または環境との連携等の農を生かした地域づくり、さらには自然環境を生かした地域づくりなどに興味があり、積極的に地域に入っていきける健康で明るい方。 募集人員は2名で性別は問いません。
応募締切り	6月10日(金)必着。別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送願います。
宿泊施設	ファームステイ、民泊、当麻かたるべの森「かたるべホール」
食事形態	宿泊先が提供。資源調査時は当麻町が提供。
その他	各種体験活動で行われる作業について、各自の要望や体力に応じたメニューを設定するほか、受入期間並びに詳細等、何なりとご相談に応じますので、下記担当者までお気軽にお問い合わせください。

### (7) 地域担当者から一言

全国的にも有名な「でんすけすいか」のまち当麻町です。  
未知の場所での農体験や地域行事への参加、田畑や山をバックにしたのフィールドワークは、将来の仕事や生き方にとつともなく強烈な原体験となるでしょう。  
意欲ある皆さんの来町を心からお待ちしています。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	当麻町	担当部署	農業振興課 農政係
(ふりがな)	たにぐち ようこ	TEL	: 0166-84-2123
担当者氏名	谷口 陽子	FAX	: 0166-84-4125
E-mail: taniguchi-y@town.tohma.hokkaido.jp			
URL: <a href="http://town.tohma.hokkaido.jp/nougyouninaite/">http://town.tohma.hokkaido.jp/nougyouninaite/</a>			
応募宛先	〒078-1314 北海道上川群当麻町4条東3丁目4番63号 当麻町役場農業振興課		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 3 : 北海道遠別町<sup>えんべつちょう</sup> (人口: 2, 836 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

【沿岸バス】特急はぼろ号 札幌駅前ターミナル ~ 沿岸バス遠別営業所 (約4時間) 沿岸バス遠別営業所から徒歩5分
--

(2) 事業実施の目的等

『別に遠くないまち えんべつ』『人と人とのつながりを大切に』をテーマとした様々な体験交流に参加していただき、地域の人たちとの交流、豊かな自然を楽しんでもらうことで“まちづくり”に参加して地域の活性化を図り、遠別町の「人と地域」を魅力に感じていただくことが目的のひとつです。
--

(3) 体験の内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業体験：町内にある受入農家等で「お試し」のような体験 (野菜の収穫、仔牛の世話 など)</li> <li>・体験プログラム：えんべつ産業見学ツアー、えんべつ旬のグルメ体験、羊のふれあい体験など (遠別の産業や地元産品、地域の人との交流体験)</li> </ul>
---

(4) 受入主体

NPO法人 えんべつ地域おこし協力隊
--------------------

(5) 受入期間

9月20日(火) ~ 9月30日(金)の 期間内の5 ~ 7日間程度で調整します
---

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：本人負担 宿泊費：本人負担(1日 1千円 例：4泊5日 5千円) 食事代：本人負担
<b>要件</b>	・まちづくりに興味関心がある大学生、大学院生、専門学生等 ・ゆっくりとした時間、豊かな自然、地域の人との交流を体験したい方
<b>応募締切り</b>	平成28年 7月29日(金)まで
<b>宿泊施設</b>	遠別町移住交流支援センター「ぴーぷる」 ・参考URL： <a href="http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/ijuu/people/">http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/ijuu/people/</a>
<b>食事形態</b>	宿泊施設での自炊が基本となります。
<b>その他</b>	この体験に参加するにあたってのご相談や詳細については、下記の担当者までメール、電話等でお気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

遠別町は、人口の少ない小さな町だからこそ『人と人とのつながりを大切に』しており、地域と人を身近に感じられる町です。また、日本最北の米どころであり、漁業や酪農などの第一次産業を主体とした「食・文化・人々」を通じて楽しんでいただきたいと思いますので、皆さんの参加をお待ちしております。
--

(8) お問い合わせ先

自治体名 遠別町	担当部署 総務課 企画振興係
(ふりがな) のむら たつひろ	TEL: 01632-7-2111(内線)217
担当者氏名 野村達宏	FAX: 01632-7-3695
E-mail: <a href="mailto:kikaku@town.embetsu.hokkaido.jp">kikaku@town.embetsu.hokkaido.jp</a>	
URL: <a href="http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/">http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/</a>	
応募宛先 〒098-3543	北海道天塩郡遠別町字本町3丁目37番地 遠別町役場 総務課企画振興係

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 4 : 北海道遠軽町<sup>えんがるちょう</sup> (人口: 21,079人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- |                            |
|----------------------------|
| 1. JR石北本線 白滝駅から車で5分        |
| 2. JR石北本線、遠軽バスターミナルから車で20分 |
| 3. JR石北本線 白滝駅から車で3分        |

(2) 事業実施の目的等

都市から若者に来てもらうことで、交流人口の拡大や地域の活性化をするため。

(3) 体験の内容

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 田舎暮らし体験 (農業体験、薪割り、星空観察等)         |
| 2. 酪農体験 (搾乳、牧場の仕事、牛とのふれあい体験、バター作り等) |
| 3. ジオツアー (黒曜石原産地赤石山を巡るバスツアー)        |

(4) 受入主体

- |            |
|------------|
| 1. えづらファーム |
| 2. みどり牧場   |
| 3. 遠軽町     |

(5) 受入期間

- |                        |
|------------------------|
| 1、2 : 通年               |
| 3 : 7月~10月の土日祝日 (期間限定) |

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費、宿泊費、食事代、参加費 : 自己負担
要件	自然体験や遠軽町に興味のある方
応募締切り	随時
宿泊施設	旅館、ビジネスホテル等の宿泊施設を各自で手配
食事形態	各自
その他	1、2 : 汚れてもよい服装。冬期間は防寒具等の寒さ対策が必要。 3 : 登山に適した格好。悪天候等により中止の可能性有。

(7) 地域担当者から一言

遠軽町でしか味わえない体験を、是非満喫してください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 遠軽町	担当部署 総務部企画課
(ふりがな) はら けんや 担当者氏名 原 健也	TEL : 0158-424818 (直通) FAX : 0158-42-3688
E-mail : kikaku@engaru.jp	
URL : http://engaru.jp	
応募宛先 〒 099-0492 遠軽町1条通北3丁目1-1 遠軽町役場総務部企画課	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 5 : 北海道平取町<sup>びらとりちょう</sup> (人口: 5,305人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 北海道 日高線 鷗川駅下車 道南バス 平取町役場前バス停  
所要時間 鷗川駅から車で30分

(2) 事業実施の目的等

- ・田舎生活とふれあいの楽しさを感じてもらう。
- ・外からの視点と若者の感性で、町や人の良さと悪さを発見して教えてもらいたい。
- ・体験を通して、今後の生活において平取町のPR役を担ってもらう。
- ・町の特産や人材の活用法などについて考えてもらう。

(3) 体験の内容

- ・農業体験(トマト収穫など)
- ・アイヌ文化体験(北海道とアイヌ民族についての歴史研修)
- ・町特有の観光産業での営業体験

(4) 受入主体

平取町

(5) 受入期間

8月 下旬 ~ 9月 月上旬  
14日間

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担(新千歳空港からは送迎あり) 宿泊費：なし 食事代：なし(但し、一部自己負担になることがあります)
要件	現役の大学生・大学院生で、地域おこしや町づくりに興味があり、地域の人と積極的に交流ができる元気で明るい方(男女問わず)
募締切り	7月22日(金)必着
宿泊施設	民泊(ホームステイ)
食事形態	宿泊先が提供。体験メニューの都合で、弁当など一部自己負担の場合もあり。
その他	体験作業が出来る服装を用意。

(7) 地域担当者から一言

夏の北海道は世界有数の過ごしやすい風土です。田舎の贅沢を体験し、町の人たちと楽しくふれあい、様々な新しい発見をして貴重な経験をしてもらいたいです。

(8) お問い合わせ先

自治体名	平取町	担当部署	まちづくり課地域戦略係
(ふりがな)	ふなこし ふみや	TEL	: 01457-2-2222 (直通)
担当者氏名	船越文弥	FAX	: 01457-2-2277
E-mail : kikaku2007@town.biratori.hokkaido.jp			
URL : http://www.town.biratori.hokkaido.jp/			
応募宛先	〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地 平取町役場 まちづくり課		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 6 : 北海道浦河町<sup>うらかわ</sup> (人口: 13,035人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

新千歳空港より道南バス「特急うらかわ号」役場前停留所で下車(約3時間40分)  
札幌駅より道南バス「高速ペガサス号」役場前停留所で下車(約3時間20分)

(2) 事業実施の目的等

保健師を目指す学生に、海と山に囲まれた自然豊かな暮らしや、地域に根差した保健師の就業体験を通して、当町で「働き」「暮らす」ことの魅力をPRすることで、当町の保健事業への理解の醸成を図るとともに若年層の移住を促進するため。

(3) 体験の内容

- ・就業体験(保健事業の見学及び補助)
- ・生活体験(町内散策、乗馬体験、野鳥観察、魚さばき体験、カフェめぐり、町民との交流会等)体験メニューは時期によって変動します。

(4) 受入主体

浦河町

(5) 受入期間

随時(ご相談ください)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 補助有(ご相談ください) 宿泊費: 補助有(ご相談ください) 食事代: 自己負担となります。
要件	保健師を目指している方
応募締切り	随時(ご相談ください)
宿泊施設	生活体験住宅(戸建タイプまたはシェアハウスタイプ)
食事形態	自炊等
その他	

(7) 地域担当者から一言

太平洋と日高山脈に囲まれた北海道・浦河町で、地域に根差した保健師の就業体験と、自然豊かな暮らしの体験をしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名	浦河町	担当部署	企画課 移住促進係
(ふりがな)	あらか まり	TEL:	0146-26-9013(直通)
担当者氏名	荒木 麻里	FAX:	0146-22-1240
E-mail:	ijuturn@town.urakawa.hokkaido.jp		
URL:	http://www.town.urakawa.hokkaido.jp/index.html		
応募宛先	〒057-8511 北海道浦河郡浦河町築地1丁目3番1号		



**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

**- 7 : 青森県**

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線新青森駅(東京 新青森 3時間) ~ JR奥羽本線弘前駅(新青森 弘前 30分)  
 青森空港(羽田空港 青森空港 1時間30分) ~ JR弘前駅、弘前バスターミナル(バス 1時間)  
 JR奥羽本線 弘前駅から弘南バス 嶽温泉下車(50分)

(2) 事業実施の目的等

- ・常盤野地区は、岩木山の山麓にあり、ブランドの嶽キミや温泉など地域資源が豊富で、農業と観光が一体となった地域である。パプル期には別荘が建ち並び、県内外から避暑地として利用されてきたが、近年では空き家も目立ってきている。また、高齢化率も45%となっており、地域の小中学校は生徒数も1桁となっている。
- ・大学生が地域での暮らしをよく知ると共に、集落地域で活動することにより、地域住民へ外部の視点を与え、地域の活性化に生かす。

(3) 体験の内容(予定)

- ・地域の未来づくりサポート事業(青森県)
- 1日目: 地域の散策(岩木山登山など)
- 2日目~4日目: 嶽きみ(地域で栽培しているブランドとうもろこし)収穫体験
- 5日目~6日目: 温泉旅館等手伝い(地域は県内有数の温泉地域)
- 7日目: 地域住民と意見交換や交流会
- 8日目: 地域住民の夕涼み会での成果発表
- 1日目~7日日夜: 常盤野地域若者シェアハウスづくりワークショップ

(4) 受入主体

(5) 受入期間(予定)

弘前市常盤野地区地域活性化特別委員会 <弘前大学大学院地域社会研究科がコーディネート>	8月4日(木)~12日(金)8日間
--	-------------------

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 不要 食事代: 原則自己負担 提供について現在検討中
<b>要件</b>	大学生、大学院生で地域づくりに興味のある方
<b>応募締切り</b>	6月30日(木) 詳細は下記担当までお問い合わせください
<b>宿泊施設</b>	地域の宿泊施設(ペンション・空いている旅館など)
<b>食事形態</b>	原則自己負担(朝、昼、夜宿泊先より一部無償で提供されるよう現在検討中。)
<b>その他</b>	

(7) 地域担当者から一言

(8) お問い合わせ先

自治体名 青森県	担当部署 企画政策部地域活力振興課地域活性化グループ
(ふりがな) さとう 担当者氏名 佐藤	TEL: 017-734-9147(直通) (内線 2327) FAX: 017-734-8027
E-mail: chikatsu@pref.aomori.lg.jp	
URL: http://www.pref.aomori.lg.jp	
応募宛先 〒030-8570 青森県青森市長島一丁目1番1号地域活力振興課	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 8 : <sup>ひろさきし</sup>青森県弘前市 (人口: 177,189人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線新青森駅(東京 新青森 3時間)～JR 奥羽本線弘前駅(新青森 弘前 30分)  
青森空港(羽田空港 青森空港 1時間 30分)～JR 弘前駅、弘前バスターミナル(バス 1時間)

(2) 事業実施の目的等

農業や農業に関する職業に関心のある学生及び社会人に対して、市内の農業者から農業を学ぶ機会を提供し、農業や農村及び農業就業に対する理解をより深めてもらい、当市農業を担う人材の育成と確保を図る。

(3) 体験の内容

事業名：ひろさき農業インターンシップ事業  

- ・ 農業実習(りんご、野菜など)
- ・ 実習先への宿泊
- ・ 農業経営の基礎知識の習得

(4) 受入主体

ひろさき農業インターンシップ事業に賛同する市内の農業者

(5) 受入期間

5月～12月のうち延べ10日間以内  
(希望作業や登録農家との調整のうえ決定となります。)

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担(所定の集合場所等まで送迎あり) 宿泊費：無料 食事代：無料
<b>要件</b>	学生(大学生等)及び一般社会人 高校生不可
<b>応募締切り</b>	受入期間は随時応募可能
<b>宿泊施設</b>	実習先農家宅等
<b>食事形態</b>	実習先農家が提供
<b>その他</b>	実習期間中は傷害保険への加入が必要となります。 作業着や着替え等の準備が必要です。その他必要事項については、作業内容や実習先農家によって異なりますので、個別にお知らせいたします。

(7) 地域担当者から一言

ひろさき農業インターンシップ事業は、農業経営や担い手育成に意欲的に取り組んでいる農業者から、直接農業を学ぶことができます。  
農業及び農業に関する職業に就職を目指している方は、是非このチャンスにご応募ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 弘前市	担当部署 農林部農業政策課農業振興係
(ふりがな)	TEL: 0172-40-7102 (直通)
担当者氏名 佐々木 幸生	FAX: 0172-32-3432
E-mail: nougyouseisaku@city.hirosaki.lg.jp	
URL: http://www.city.hirosaki.aomori.jp	
応募宛先 〒036-8551 青森県弘前市上白銀町1-1 農林部農業政策課農業振興係	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 9 : 青森県<sup>とわだし</sup>十和田市 (人口: 63,444人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

七戸十和田駅(東北新幹線) - 十和田市中央 バス停(十和田観光電鉄(株) 路線バス) - 十和田市役所  
(50分) (徒歩10分)

(2) 事業実施の目的等

農業体験を通じて学ぶことや発見することの素晴らしさを分かち合いたいと考えています。自然豊かなこの地で一緒に農作業をして寝食を共にすることで、田舎の文化や知恵を学んだり、人と人との温かさや食の大切さを肌で感じるすることができます。

(3) 体験の内容

農業体験(田植え、ニンニク・ナガイモ・ゴボウ・ネギの植え付け、収穫など)  
農家民泊

(4) 受入主体

十和田農業体験連絡協議会

(5) 受入期間

随時

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 自己負担 料金: 要相談(例: 1泊2日、3食、農業体験(午前・午後)付 9,400円)
要件	農業や農家生活に興味のある方
応募締切り	随時
宿泊施設	農家民泊
食事形態	農家より提供
その他	

(7) 地域担当者から一言

当協議会では、食の大切さや心とココロのふれあいを実感できる交流体験を実施しています。食べ物を作り、育てる現場での体験や農家での団らんを通して、ココでしかできない体験をしていただきたいと思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 青森県十和田市	担当部署 農林部とわだ産品販売戦略課
(ふりがな) あいづ けんたろう	TEL: 0176-51-6746(直通)
担当者氏名 会津 健太郎	FAX: 0176-22-9399
E-mail: kentaro_aizu@city.towada.lg.jp	
URL:	
応募宛先 〒034-8615 青森県十和田市西十二番町6-1 十和田農業体験連絡協議会 事務局(十和田市 農林部 とわだ産品販売戦略課 内)	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 10 : <sup>くりはらし</sup>宮城県栗原市 (人口: 71,748人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東北新幹線: くりこま高原駅下車 (東京から約2時間)  
高速バス: 東日本急行 高速バス「仙台、栗原市金成庁舎前線」くりこま高原駅下車  
(仙台から約1時間20分)

## (2) 事業実施の目的等

栗原市では、これまで約30名の学生の皆さんを受け入れており、参加者の皆さんと一緒に地域の資源を探したり、体験・交流しながら、地域の人々の暮らしを体感する「くりはらツーリズム」のスガタを研究しています。  
さらに、グリーン・ツーリズムを始め、ツーリズムに関心の高い市民が学生を受け入れることで、経験や知識を学べる機会とします。

## (3) 体験の内容

季節に応じて、農業や林業などの作業や地域の暮らしの行事を体験します。また、地域資源を地元住民やスタッフと一緒に調査します。その他、季節に応じてメニューを設定します。  
例: 農作業体験...田んぼ、畑、果樹園等で作業体験 林業体験...森林や竹林等での作業体験  
地方の暮らし体験...地方に伝わる家庭の行事や地元食づくり体験 その他...資源調査等

## (4) 受入主体

・くりはらツーリズムネットワーク  
・花山はっけん塾(民泊受入組織)

## (5) 受入期間

8月上旬~9月中旬頃 3泊4日  
期間については相談に応じます。

## (6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 参加者 宿泊費: 受入主体 食事代: 受入主体・一部自己負担
要件	・大学生、大学院生(都市、地方は問いません) ・地方、田舎に関心のある人 ・インターン終了後も、栗原市を積極的にPRしていただける方
応募締切り	・1カ月程度前 各回4~8人程度を予定
宿泊施設	・民泊 ・宿泊施設
食事形態	・受入先で提供 昼食は一部自己負担あり
その他	・動きやすく、作業できる服装・シューズ(サンダル・ハイヒール不可)をご用意ください

## (7) 地域担当者から一言

栗原市は、面積800平方キロメートルと宮城県内でもっとも広い面積を誇り、その約8割が森林、原野、田畑で占められていて、自然豊かな田園風景が広がる地域です。この広い栗原で、地方の暮らしや歴史・文化、農作業を体験しながら、市民との交流を楽しみましょう。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 宮城県栗原市	担当部署 産業経済部田園観光課観光企画係
(ふりがな) さとう こうや	TEL: 0228-22-1151(直通)
担当者氏名 佐藤 広也	FAX: 0228-23-5370
E-mail: kanko@kuriharacity.jp	
URL: <a href="http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html">http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html</a>	
応募宛先 〒989-5612	宮城県栗原市志波姫新熊谷284番地3(JRくりこま高原駅内)

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 1 1 : <sup>おおさきし</sup>宮城県大崎市 (人口: 133,868人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR古川駅・東北新幹線・陸羽東線

(2) 事業実施の目的等

移住希望者へ大崎市の魅力を知ってもらうために実施するもの。  
なお、詳細については、現在調整中。

(3) 体験の内容

「農業が好き」という方から「本格的に農業を始めたい」と考えている方を対象に地元生産者の方から直接農業についての話を聞いたり、簡単な農作業体験の場を提供したりする事で、農業の面白さを伝えるもの。

(4) 受入主体

宮城おおさき移住支援センター

(5) 受入期間

未定

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：なし 宿泊費：なし(日帰り) 食事代：未定
<b>要 件</b>	市外に住所を有する者で、大崎市への移住定住に興味がある者。
<b>応募締切り</b>	未定
<b>宿泊施設</b>	未定(日帰りの可能性もあり)
<b>食事形態</b>	昼食
<b>そ の 他</b>	平成28年3月6日に農業体験ツアーを実施(参加者21名。体験費(昼食費込)2,500円。仙台駅に集合し、バスで移動)

(7) 地域担当者から一言

大崎市への移住に興味のある方は是非ご参加ください。大崎市の魅力が分かるツアーになっております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大崎市	担当部署 市民協働推進部 政策課 元気戦略推進室
(ふりがな) ふじしま よしみつ たぐち きょうすけ 担当者氏名 藤島 善光、田口 経祐	TEL: 0229-23-2129 (直通) FAX: 0229-23-2427
E-mail: <a href="mailto:seisaku@city.osaki.miyagi.jp">seisaku@city.osaki.miyagi.jp</a>	
URL: <a href="http://www.city.osaki.miyagi.jp">http://www.city.osaki.miyagi.jp</a>	
応募宛先 宮城おおさき移住支援センター cu:rus くーらす 〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通 2-4-5-1 TEL 0229-25-4493 FAX 0229-25-5269	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 1 2 : 山形県<sup>おぐに</sup>小国町 (人口: 8, 117人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R米坂線 小国駅下車 循環バス 役場前バス停

(2) 事業実施の目的等

- ・地域資源を外部の視点で再評価し、活用策を模索することで、その新たな価値を創造する。
- ・Facebook 等の SNS を活用した小国町の情報発信を行い、小国町のファンを増やす。

(3) 体験の内容

- ・農林業体験(水稲・野菜・花卉等の栽培、和牛飼育など)
- ・山村文化体験(マタギ文化体験、自然体験、川遊びなど)
- ・食文化体験(郷土料理体験、地域食材を活用したメニュー開発など)

(4) 受入主体

小国町  
町内農業者

(5) 受入期間

8月下旬～9月中旬ころ  
7日間

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費： 町が負担(都内からに限る) 宿泊費： 無料 食事代： 自己負担(1万円程度)
<b>要件</b>	東京近隣の大学生、大学院生
<b>応募締切り</b>	7月15日までに担当者へメール等でご連絡ください
<b>宿泊施設</b>	町内宿泊施設、農家など
<b>食事形態</b>	町内飲食店、農家での調理体験、自炊など
<b>その他</b>	早稲田大学小国町愛好サークル「いぐべおぐに」が実施する地域体験の一環として実施します。

(7) 地域担当者から一言

小国町には、ブナの原生林をはじめとする豊かな自然環境や、そこで育まれた美味しい山菜・米・和牛・イワナなど、魅力あふれる地域資源がいっぱいです！地域の魅力を楽しみながら、活性化や課題解決などについて考えてみませんか。自ら体験し、考え、実践することで、自分自身のキャリアアップにもつながります。白い森の国「おぐに」でお待ちしています！

(8) お問い合わせ先

自治体名 山形県小国町	担当部署 総務企画課 政策企画室 政策企画担当
(ふりがな) わたなべ じゅろう 担当者氏名 渡部 寿郎	TEL: 0238-62-2264 (直通) FAX: 0238-62-5464
E-mail: soumu@town.oguni.yamagata.jp	
URL: http://www.town.oguni.yamagata.jp/	
応募宛先 〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町2-70	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 13 : <sup>あいづわかまつし</sup>福島県会津若松市 (人口: 121,593人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・ JR磐越西線 会津若松駅
- ・ 高速バス 新宿駅・東京駅～会津若松駅他
- ・ 自家用車 磐越自動車道 会津若松IC・磐梯河東IC

(2) 事業実施の目的等

農家においては、農繁期などの負担軽減や都市住民との交流による地域活性化に繋がり、参加者においては、農家に滞在して農作業に従事することにより、農業・農村をより深く理解してもらう機会となることを目的としています。

(3) 体験の内容

- 「会津若松市ワーキングホリデー」
- ・ 水稲、野菜、果樹などの各種作業のお手伝い
  - ・ 農家に宿泊しながら田舎暮らし体験

(4) 受入主体

会津若松市

(5) 受入期間

通年(2泊3日以上を基本とし、受入者と体験者の希望に合わせて要調整)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：参加者負担 宿泊費：なし 食事代：なし
要件	一定期間きちんと農作業を手伝える方
応募締切り	希望する初日の2週間前まで 「ワーキングホリデー参加申込書」に必要事項を記入のうえ、会津若松市農政課まで郵送、FAX、電子メールのいずれかにて申込み
宿泊施設	受入農家宅
食事形態	受入農家で提供
その他	・作業ができる服装、着替え、洗面道具、タオルなどを準備してください。 ・長靴の無料レンタルも行っています。(サイズ、数量に限りがあります。)

(7) 地域担当者から一言

会津若松市はたくさんの史跡や四季折々の自然など観光資源が豊富なまちです。その一方で農業も大変盛んで、水稲、野菜、果樹など、あらゆる農作物を栽培しており、いろいろな農作業や農村体験をすることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名	会津若松市	担当部署	農政部農政課農業活性化グループ
(ふりがな)	さとう みき	TEL	: 0242-39-1253 (直通)
担当者氏名	佐藤 美希	FAX	: 0242-23-8180
E-mail	: nosei@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp		
URL	: http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp		
応募宛先	〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3番46号		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 14 : 福島県<sup>きたかたし</sup>喜多方市 (人口: 49,248 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR磐越西線 喜多方駅から徒歩 15 分

(2) 事業実施の目的等

- ・地域に来てほしい
- ・地域を見てほしい
- ・地域に触れてほしい

(3) 体験の内容

- ・夏季コース キュウリ・トマト等の収穫・管理作業
- ・秋季コース コシヒカリやソバ等の収穫・管理作業
- ・冬季コース 農産加工や雪国体験

(4) 受入主体

喜多方市

(5) 受入期間

- ・夏季コース 7月下旬 3日間
- ・秋季コース 9月下旬 3日間
- ・冬季コース 1月下旬 3日間

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費： 無料 宿泊費：無料 食事代： 一部自己負担
<b>要件</b>	市外在住で本市への就農や定住を考えている方
<b>応募締切り</b>	各コースともホームページよりお申込みください。
<b>宿泊施設</b>	農家民泊
<b>食事形態</b>	農家民泊では朝・夕を提供（昼食は自己負担） 2日目の夕は交流会開催予定
<b>その他</b>	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

ラーメンの香る喜多方で、農泊しながら農業研修・生活体験してみませんか？

(8) お問合せ先

自治体名	福島県喜多方市	担当部署	産業部農林課農業振興対策室
(ふりがな)	えんどう けんじ	TEL:	0241-24-5277 (直通)
担当者氏名	遠藤 健治	FAX:	0241-25-7073
E-mail:	nourin@city.kitakata.fukushima.jp		
URL:	http://www.kitakata.fukushima.jp		
応募宛先	〒966-8601 福島県喜多方市字御清水東 7244-2 産業部農林課農業振興対策室		



**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 15 : 福島県<sup>かわまたまち</sup>川俣町 (人口: 13,917人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR東北新幹線・福島駅下車 JRバス川俣高校行き 役場前バス停 45分程度

(2) 事業実施の目的等

- ・農作業体験等により、農業・農村生活を体験し理解を深め、感じたことを自分の言葉で伝えられる若者を育む。
- ・地域づくり、まちづくりに関心のある都市の若者との交流を活性化させ、都市資源(人、産業、文化等)と地域資源(人、産業、文化等)を活用した、新しい地域づくり活動や仕事創出のきっかけづくりを図る。

(3) 体験の内容

- ・仕事としての、花卉、野菜等の農作業や、養鶏等の飼育作業体験
- ・地域伝統行事(盆踊り)参加や公民館事業開催等による、地域住民との交流
- ・地域ヒアリングによる現有地域資源を活用した交流事業の仕組みの提案
- ・からりこフェスタ、川俣シャモまつり等のイベント運営補助
- ・現地報告会

(4) 受入主体

川俣町(小島地区)

(5) 受入期間

8月上旬～9月上旬 30日間程度(応相談)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 自己負担
要件	地域づくりや農業・農村生活体験に好奇心旺盛な大学生、大学院生
応募締切り	平成28年6月17日(金)必着 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者まで郵送してください。なお、申込み前に、必ず担当者へ御連絡ください。
宿泊施設	町施設
食事形態	自炊
その他	体験や交流によっては、民泊や食事の提供もある。 作業体験によっては、報酬がある。

(7) 地域担当者から一言

皆さんが30日間という時間を費やす価値が川俣町にはあります。何を見て、何を聞き、何に驚き、喜び、何をしたのか。何を感じ、考えたのか……。あなたの言葉で伝えてほしい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 川俣町	担当部署 産業課商工交流係
(ふりがな) (おおこうち のぞみ)	TEL: 024-566-2111(内線)1505
担当者氏名 大河内 望	FAX: 024-566-3120
E-mail: sangyo@town.kawamata.lg.jp	
URL: http://www.town.kawamata.lg.jp/	
応募宛先 〒960-1492	福島県伊達郡川俣町字五百田30番地 川俣町役場産業課商工交流係

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 16 : いなわしろまち 福島県猪苗代町 (人口: 約15,000人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

電車: J R 東北新幹線・J R 磐越西線猪苗代駅下車 (東京駅から約2時間20分)  
高速バス: 新宿駅~猪苗代駅 (約4時間10分)  
車: 磐越自動車道 猪苗代磐梯高原IC (浦和ICから約2時間30分)

## (2) 事業実施の目的等

若者に地方体験や地元の方々との交流をしていただき地方の楽しさ、魅力を知っていただくことで、地域活性化及び交流人口の拡大とU I J ターンの促進を図る。

## (3) 体験の内容

スポーツ体験 (スキー、スノーボード、スノーシュー、パラグライダー、カヌー、ナイトウォーク、ウォータージャンプ、シャワーウォークなど)  
農業体験 (じゃがいも堀り、田植え、稲刈り、野菜の植え付け、収穫、花の植え付け、アスパラガス収穫、ブルーベリー摘み取りなど)  
自然体験 (杉おこし間伐林業、トレッキング、ひし刈、釣り堀、ドラム缶風呂、魚つかみ、湖畔の森ハイキング、川遊び、磐梯山登山、紅葉狩り、天体観測など)  
工作体験 (陶芸教室、民芸品工作、リース作り、箸作り、赤べこの絵付け、竹とんぼ作り、森の工作など)  
食体験 (そば打ち、もちつき、野外炊飯、バター作り、アイスクリーム作り、ピザ作り、パーベキュー、ブルーベリージャム作り、ひし巻き作りなど)  
歴史体験 (野口英世博士に関する講座、巨石巡り、町内史跡巡り、天鏡閣周辺探索、沼尻鉱山探索など)

## (4) 受入主体

いなわしろ体験学習推進協議会

## (5) 受入期間

通年

## (6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費、宿泊費、食事代: 自己負担
要件	地方体験や交流に興味がある人
応募締切り	体験の2週間前ぐらいまで
宿泊施設	民宿
食事形態	民宿にて、朝・夕を提供 (昼食は要相談)
その他	体験にあった動きやすい服装でお越しください。

## (7) 地域担当者から一言

猪苗代町は、会津磐梯山、安達太良山など日本百名山の山々と猪苗代湖に囲まれた自然景観に恵まれたリゾート地です。磐梯山では登山、スキー、スノーボードなど、猪苗代湖ではキャンプやウォータースポーツ、湖水浴ができます。さらに町内には17エリアの温泉施設があり四季を通して楽しめます。東京からは、新幹線を利用すれば約2時間20分で来ることができます。様々な楽しい体験メニューがございますので、風光明媚な猪苗代町に是非お越しください。

## (8) お問い合わせ先

自治体名	福島県猪苗代町	担当部署	商工観光課商工観光係
(ふりがな)	のぎき かずひこ	TEL	: 0242-62-2117 (直通)
担当者氏名	野崎和彦	FAX	: 0242-62-5175
E-mail	: syoukan@town.inawashiro.fukushima.jp		
URL	: <a href="http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/">http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/</a> (猪苗代町) <a href="http://www.bandaisan.or.jp/kyouiku/">http://www.bandaisan.or.jp/kyouiku/</a> (いなわしろ体験学習推進協議会)		
応募宛先	〒969-3123 福島県耶麻郡猪苗代町字城南100番地		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 17 : 福島県<sup>おのまち</sup>小野町 (人口: 約10,200人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR磐越東線「小野新町駅」下車 (東京駅から郡山駅乗換約2時間20分)  
 新常磐交通 高速バス「小野インター」下車(東京駅からいわき好間バス停乗換約3時間40分)

(2) 事業実施の目的等

- ・町の暮らしに興味をもってもらい、移住や二地域居住に目を向けてもらう。
- ・地域に伝わる昔ながらの料理に関心を持ち、体験してもらう。
- ・都市と地方の交流を促進する。
- ・空き店舗等を活用した起業(IT関係など)に興味を持ってもらう。

(3) 体験の内容

- ・よもぎもち、かしわもちづくり体験
- ・野菜の植え付け、野菜の収穫(農業体験)
- ・日帰り登山(6/12予定 日影山ふれあい登山) 宿泊の方のみ

(4) 受入主体

小野町ふるさと暮らし支援センター

(5) 受入期間

6月11日(土) ~ 6月12日(日)  
2日間

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費: (東京から)9000円程度(高速バス往復) 宿泊費: 8000円程度(宿泊する場合のみ) 食事代: 1000円程度/1回(昼食1回)
<b>要件</b>	小野町での暮らしに関心がある方
<b>応募締切り</b>	6月3日(金) 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者まで郵送、FAXまたはメールにてお送り下さい。
<b>宿泊施設</b>	宿泊を希望される方に、旅館をご紹介します。別途ご相談ください。
<b>食事形態</b>	昼食費自己負担
<b>その他</b>	体験の日程は1日間です。(6/11のみ) 宿泊される方は翌日の日影山ふれあい登山に参加できます。

(7) 地域担当者から一言

当センターは移住を考える方の相談や支援を行っております。また、地域の暮らしをより良く知ってもらうため、料理作りや農作業の他にも体験メニューをご用意しております。今年度は様々な体験を計10回予定しております。別日程の体験についてもお問い合わせください。さらに、地域の情報を発信している当センターのホームページも合わせてご利用ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 小野町	担当部署 小野町ふるさと暮らし支援センター
(ふりがな) よもぎた	TEL: 0247-72-3228(直通)
担当者氏名 蓬田	FAX: 0247-72-3256
E-mail: info@ono-furusato.com	
URL: http://www.ono-furusato.com/	
応募宛先 〒963-3401	福島県田村郡小野町大字小野新町字中通35 小野町ふるさと暮らし支援センター

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 18 : 茨城県潮来市<sup>いたこし</sup> (人口: 29,065人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京駅八重洲南口1番停留所から発車する高速バス利用 水郷潮来停留所まで約70分 JR 潮来駅から徒歩 15分 高速バス水郷潮来停留所からタクシー・車で5分
---

(2) 事業実施の目的等

首都圏にはない自然の魅力を発信し、若者に地域の独自性のある体験をしていただくことで魅力ある水郷潮来への移住・地方からの通学・通勤の促進を図る事業とする。また、地域の人々と交流してもらうことで、若者ならではの情報発信の拡大に期待する。
--

(3) 体験の内容

- |  |
|--|
| 1) 手焼きせんべい体験<br>2) 長勝寺 座禅体験<br>3) 手こぎ舟 前川ろ舟体験<br>4) 花嫁道場(華道・着付け・茶道・藍染体験)<br>5) 潮来祇園祭礼 若連体験 |
|--|

(4) 受入主体

潮来市
-----

(5) 受入期間

詳細はお問い合わせください
---------------

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：未定 食事代：未定
<b>要件</b>	潮来暮らしを検討してみたい方。
<b>応募締切り</b>	募集開始時に詳細を公表します
<b>宿泊施設</b>	募集開始時に詳細を公表します
<b>食事形態</b>	募集開始時に詳細を公表します
<b>その他</b>	元気に体験を楽しめる方。地域おこし協力隊に関心のある方。

(7) 地域担当者から一言

東京八重洲南口から10分おきに水郷潮来へのバスが出ています。70分で都内から田舎へ。水と緑に囲まれた自然豊かな潮来市にぜひお越しください。お待ちしております。
---

(8) お問い合わせ先

自治体名 潮来市	担当部署 総務部秘書政策課
(ふりがな) かわせゆか	TEL: 0299-63-1111 (内線) 211
担当者氏名 河瀬由香	FAX: 0299-80-1100
E-mail: info@city.itako.lg.jp	
URL: http://www.city.itako.lg.jp/	
応募宛先 〒311-2493	茨城県潮来市辻626番地 潮来市役所総務部秘書政策課 移住・定住担当

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 19 : 千葉県<sup>やちまたし</sup>八街市 (人口: 72,782人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

総武本線 JR 八街駅 東京駅から普通電車 1 時間 30 分程度  
特急電車 1 時間程度

(2) 事業実施の目的等

本市農業の魅力を感じてもらい、新規就農者の確保、本市への移住につなげていきたい。

(3) 体験の内容

農業体験インターンシップ事業として宿泊(1泊2日) 地元農業者との交流会を伴う農作業の体験をしてもらう。

(4) 受入主体

八街市

(5) 受入期間

未定(詳細はお問い合わせください)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：なし 食事代：なし
要件	真剣に就農してみたいと思っている方
応募締切り	未定(詳細はお問い合わせください)
宿泊施設	市内宿泊施設
食事形態	全食宿泊施設より提供
その他	

(7) 地域担当者から一言

本市の基幹産業である農業を体験していただき、本市において就農していただけるきっかけになればと思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 八街市	担当部署 経済環境部農政課
(ふりがな) たに みつお	TEL : 043-443-1402
担当者氏名 谷 光男	FAX : 043-442-6416
E-mail : nosei@city.yachimata.lg.jp	
URL : <a href="http://www.city.yachimata.lg.jp/toppage.html">http://www.city.yachimata.lg.jp/toppage.html</a>	
応募宛先 〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35-29	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ながおかし  
- 20 : 新潟県長岡市 (人口: 276,742人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

・上越新幹線(東京～長岡駅)約1時間30分

(2) 事業実施の目的等

・学生や社会人を対象に短期就農体験の受入を行い、新規就農のきっかけづくりを支援するもの

(3) 体験の内容

・農作業体験(田植え、野菜苗植え、稲刈り等収穫作業)  
・養鯉業体験(野池や施設の清掃、展示・販売補助作業等)  
・畜産業体験(牛のエサやり、牛舎清掃等)  
申込時に希望する体験メニューをお聞かせください。

(4) 受入主体

農業法人等

(5) 受入期間

通年  
4泊5日を基本に柔軟に対応します。

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費： 長岡駅までの交通費は参加者が負担。 宿泊費： 参加者の負担なし(受入先が用意します。) 食事代： 参加者の負担なし(受入先が用意します。) 傷害保険料： 参加者負担500円
要件	農業に興味・関心があり、将来、地方に移住し、就農を検討している方。
応募締切り	体験希望開始日の2週間以上前までを目途にお申込みください。
宿泊施設	受入農家への住み込み、又は民宿。
食事形態	受入農家、又は民宿にて。
その他	

(7) 地域担当者から一言

長岡市は、新潟県のほぼ中央、県下第2の都市です。信濃川を挟んでの平野部・丘陵部、日本海に面する海岸地域、豪雪地域である中山間地と多様な自然があります。作目は水稻が主ですが、個性豊かな長岡野菜も魅力です。興味がある方は、まずは短期就農体験に参加して、長岡の良さを感じてみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 長岡市	担当部署 農林部 農政課 担い手育成係
(ふりがな) さかた すすむ 担当者氏名 坂田 晋	TEL: 0258-39-2223(直通) FAX: 0258-39-2284
E-mail: nousei@city.nagaoka.lg.jp	
URL: <a href="http://www.city.nagaoka.niigata.jp/sangyou/cate04/tanki-syunou.html">http://www.city.nagaoka.niigata.jp/sangyou/cate04/tanki-syunou.html</a>	
応募宛先 〒940-0062 新潟県長岡市大手通2-2-6 ながおか市民センター5階	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 21 : 新潟県<sup>さんじょうし</sup>三條市 (人口：100,821人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京～燕三條(約2時間) 上越新幹線 燕三條駅乗換 弥彦線 北三條駅 下車  
 三條市役所までの道順

(2) 事業実施の目的等

三條市の中心市街地を舞台に開催している「～三條マルシェ～ごった市@ホコテン」では、毎回、若者を中心としたボランティア「マルシェ部」が、スタッフとして運営を支えている。マルシェ部に参加することで、三條市を知るきっかけとなり、中心市街地の魅力を感じてもらう。

(3) 体験の内容

マルシェ部スタッフ  
 (想定される主な作業)  
 ・備品の準備、撤収 ・会場美化 ・会場案内 ・イベントステージ補助 など

(4) 受入主体

三條マルシェ実行委員会  
 (事務局：三條市市民部地域経営課)

(5) 受入期間

10月1日(土)～ 10月2日(日)  
 2日間

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担(2日の昼食のみ補助)
<b>要件</b>	市街地活性化活動に興味がある方
<b>応募締切り</b>	9月30日(金)
<b>宿泊施設</b>	市内宿泊施設
<b>食事形態</b>	各自用意(2日の昼食のみ補助)
<b>その他</b>	

(7) 地域担当者から一言

三條マルシェを年7回開催しているうち、最大規模となる10月開催では、三條市内外に留まらず、県外からも非常に多くの出店と、約10万人ものご来場をいただいています。三條マルシェのスタッフとして会場を歩きまわって、三條のまちなかの魅力を感じてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県三條市	担当部署 市民部地域経営課中心市街地活性化推進係
(ふりがな)なかむら けんた 担当者氏名 中村 健太	TEL：0256-34-5511(内線726) FAX：0256-36-5111
E-mail：chiikikeiei@city.sanjo.niigata.jp	
URL：http://www.city.sanjo.niigata.jp/	
応募宛先 〒955-8686 新潟県三條市旭町二丁目3-1 三條市役所市民部地域経営課	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 22 : <sup>しばたし</sup>新潟県新発田市 (人口: 100,314人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR	東京駅 (上越新幹線)	新潟駅 (白新線)	新発田駅	最短 127分
自家用車	練馬 IC	関越自動車道・日本海東北自動車道	聖籠・新発田 IC	326.8K 221分

(2) 事業実施の目的等

<p>【農村体験ツアー参加者募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者には、地域をじっくり見て、じっくり聞いて、地域で生きることをイメージしてもらい、地域活動を通じて若い力で冬の農村に元気を与えてほしい。</li> <li>・今まで地域外の人たちと関わりが少なかった集落には、若いヨソ者目線で感じたことを地域づくりに活かしてほしい。</li> </ul>
---

(3) 体験の内容

農作業体験	郷土料理づくり	地域活動
-------	---------	------

(4) 受入主体

新発田市	(5) 受入期間
	夏～冬(期間内2、3回程度) 1泊2日

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：新発田駅までは参加者負担 宿泊費：負担あり 食事代：負担あり
要件	人との触れ合いを求める方
応募締切り	未定(お問い合わせください)
宿泊施設	地域が準備する古民家等
食事形態	受入地域で提供
その他	・防寒着、長靴、寝間着、着替え、タオル、歯ブラシ等の洗面用具、保険証などを準備してください。(季節により異なります)

(7) 地域担当者から一言

<p>人に会いに行く農村の旅はいかがですか。集落住民の一員になったつもりで郷土料理づくりや地域活動を行ってまいります。その他にも、農村短期インターンシップ(数週間) まち全体の体験交流ツアー(1泊2日) 地域おこし協力隊受入地域体験ツアー(1泊2日) 農業法人での農作業体験(個別対応)を予定します。海から山までの自然や食材に恵まれ、普段の食事がおいしいまちです。体験で汗をかいて、温泉で汗をかいて、しばた暮らしを五感で感じてみませんか。</p>
---

(8) お問い合わせ先

自治体名	新潟県新発田市	担当部署	みらい創造課定住促進係
(ふりがな)	さの・ますい	TEL	: 0254-22-3101 (内線 1358)
担当者氏名	佐野・増井	FAX	: 0254-22-3110
E-mail	: mirai@city.shibata.lg.jp		
URL	: http://www.city.shibata.niigata.jp/		
応募宛先	〒957-8686 新潟県新発田市中心4-10-4		



**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 23 : 新潟県おぢやし小千谷市 (人口: 37,091人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

電車: JR 飯山線 越後岩沢駅 下車 徒歩 約2分  
 車: 関越自動車道 越後川口ICより 約10分

(2) 事業実施の目的等

- ・地域住民との交流や意見交換を通して地域資源の発掘や情報発信をしていただきたい。
- ・活動を通して小千谷市の魅力を発見し、地域活性化の支援をしていただきたい。

(3) 体験の内容

○地域活性化に関わる活動全般  
 ・農作業 ・草刈 ・地域の方との交流 ・古民家再生 (農家民宿開業に向けて)  
 ・地域イベント行事への参加、協力  
 ・アイデア提供など ...参加者の方のやりたいことと相談して対応

(4) 受入主体

岩沢アチコタネーゼ

(5) 受入期間

8月  
 (期間内2~3週間程度)

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 自己負担
<b>要件</b>	地域づくりに興味ある方
<b>応募締切り</b>	6月末まで
<b>宿泊施設</b>	岩沢アチコタネーゼ事務所 2F和室
<b>食事形態</b>	自炊 (お米や野菜の提供があります)
<b>その他</b>	作業に適した服装 参加にあたっての詳細やご相談など、お気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

小千谷市岩沢 (いわさわ) 地域は、過疎や高齢化、耕作放棄地など様々な問題を抱える中、ふるさと活性化の為に「農家レストランの経営」や「棚田農作業体験イベント」「農作物の栽培・直売」「収穫祭」「除雪支援事業」など地域の有志の力をあわせ、活動を行っています。インターン事業については、これまでに3回の受入れを行ってきました。  
 毎年、様々な課題と一緒に楽しんで悩んで取り組んでくださり、地域に新しい風をおこし、笑顔と元気をくれました。こうした交流は、お互いの糧になり、次へ繋がっていきます。  
 そして取り組むべき課題は、まだまだあります。  
 岩沢地域の取組に力を貸して下さる方、興味をお持ちの方、お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 小千谷市	担当部署 地域振興課 地域振興係
(ふりがな) 担当者氏名 やまむら あやの 山村 綾乃	TEL: 0258 (83) 3556 FAX: 0258 (83) 2789
E-mail: <a href="mailto:chiiki@city.ojiya.niigata.jp">chiiki@city.ojiya.niigata.jp</a>	
URL: <a href="http://www.city.ojiya.niigata.jp/">http://www.city.ojiya.niigata.jp/</a>	
応募宛先 〒947-8501 新潟県小千谷市城内2-7-5	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 24 : <sup>とおかまちし</sup>新潟県十日町市 (人口: 56,148人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

上越新幹線・越後湯沢駅 ほくほく線十日町駅下車 東京から約2時間

(2) 事業実施の目的等

・多くの若者から十日町市を訪れ、農作業等の就業体験、地方での田舎暮らしを通して、自然と共生する暮らしのあり方をはじめ、当市の魅力に触れ、それを広く発信していただきたい。  
・当市での暮らしの魅力を知り、当市を選んで住み継ぐことで、新たな地域の担い手として市の活性化に若い力をお借りしたい。

(3) 体験の内容

・「地域づくり」×「農業」、「古民家再生」、「古民家カフェのお手伝い」、「移動販売のお手伝い」  
・市内中山間地域の集落存続・機能維持をサポートする地域おこし協力隊の支援活動に携わりながら、「地方再生における外部人材の役割」や集落営農で農業収入を増やし、生産基盤である農地を保全する仕組みづくり等を、住民とともに汗を流し、ともに喜び、ともに笑いながら、学び、体験することができます。

(4) 受入主体

十日町市企画政策課移住定住推進係

(5) 受入期間

7月上旬～ 3月27日(月)  
約270日間

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：個人負担(東京から約12,000円) 宿泊費：自己負担なし(*冬期間、暖房代が必要となる場合があります) 食事代：自炊(原則、自己負担)
要件	・チャレンジ精神のある方 ・社会(地域)貢献したいと考えている方 ・自然が身近にある生活をしたい方 ・自分にあった田舎暮らしを体験したい方 ・十日町市地域おこし協力隊への応募を検討している方
応募締切り	平成29年2月末まで 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者までFAX又はメールにてご連絡ください(受入定員に達し次第、募集を打ち切ります)。
宿泊施設	受入集落・団体で用意した住居(空き家)、地域集会施設及びレンタルハウス
食事形態	原則、自炊 住民との交流を通じて、食事に招待いただけることもあるかもしれません。
その他	・移住定住の多様な窓口として、新潟県が実施する事業を活用して、インターン研修生の受入を行っています(研修期間は、原則1か月となります)。 ・作業ができる(汚れてもいい)服装をご準備ください。研修に必要な備品、消耗品等は当方で準備します。

( 7 ) 地域担当者から一言

集落住民との交流・触れ合いから、人とつながることの楽しさ、地方ならではの「助け合い」「お互い様」の精神を体感し、自己の存在意義や田舎ならではの居心地の良さを見つけてみませんか。

( 8 ) お問合せ先

自治体名 新潟県 十日町市	担当部署 総務部 企画政策課 移住定住推進係
(ふりがな) こばやし ひでゆき 担当者氏名 小林 秀幸	TEL : 0 2 5 - 7 5 5 - 5 1 3 7 ( 直通 ) FAX : 0 2 5 - 7 5 2 - 4 6 3 5
E-mail : t-kikaku@city.tokamachi.lg.jp	
URL : <a href="http://www.city.tokamachi.lg.jp/">http://www.city.tokamachi.lg.jp/</a>	
応募宛先 〒 9 4 8 - 8 5 0 1 新潟県十日町市千歳町 3 丁目 3 番地	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 25 : 新潟県<sup>つばめし</sup>燕市 (人口: 81,745人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

上越新幹線 東京駅 燕三条駅 約1時間50分

(2) 事業実施の目的等

燕市出身で首都圏在住の方を対象に「東京つばめいと」事業を行っており、その事業の一環として、市内企業の魅力発信や就職先として「燕市で働く」を具体的にイメージしていただくために「ものづくりのまち燕市」を体感できるインターンシップを行っております。

このインターンシップについては、市外出身の方についても燕市に興味があったり、なんとなく地方での就職を考えている「ターンや」ターン希望の方、燕市のものづくりの技術の高さを体感したいという学生など、どなたでも参加できます。

(3) 体験の内容

インターンシップ

事前オリエンテーション・グループワーク

燕市のものづくりについて学ぶ

市内企業の職場見学と企業説明、体験

(伝統産業から国内シェア95%を誇る洋食器産業を支える技術や販売戦略、様々な分野における国内シェアトップの製品や技術を体感できる職場見学 等)

市内企業や市長との懇談

東京つばめいとをはじめとする燕市の地方創生の取り組みについて 等

(4) 受入主体

東京つばめいと事務局  
(燕市役所地域振興課交流推進係)

(5) 受入期間

短期滞在型(1泊2日)

1回目 8月頃 2回目 2月頃を予定

長期滞在型(5泊6日)

8月下旬から9月上旬頃に実施予定

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：復路のみ自己負担 宿泊費：県外出身者については宿泊費を負担 食事代：未定
要件	東京つばめいと会員および首都圏在住の学生・社会人
応募締切り	詳細は事務局へお問い合わせください
宿泊施設	市内宿泊施設等
食事形態	短期滞在型 - 1日目夕食時懇親会実施予定 長期滞在型 - 期間中に1度夕食時懇親会を実施予定
その他	

(7) 地域担当者から一言

燕市出身の学生や社会人でも地元企業とのふれあいが少なかったり、なんとなくUターンしたいけど仕事があるのかと不安を抱えている学生や社会人に向けて、どのような仕事があるか、また市内企業がどのように世界や国内で活躍しているかなどの企業の魅力を体感できるプログラムを考えています。また、市外出身者の方には、教科書やテレビでなんとなく聞いたことがある「燕市」を楽しみつつ、しっかりと「働くこと」を学んでもらえるように企画していますので、ぜひ興味のある方はご参加ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県燕市	担当部署 企画財政部 地域振興課 交流推進係
(ふりがな) さの だいすけ 担当者氏名 佐野 大輔	TEL : 0256-77-8364 (直通) FAX : 0256-92-2112
E-mail : <a href="mailto:chiiki@city.tsubame.niigata.jp">chiiki@city.tsubame.niigata.jp</a>	
URL : <a href="http://www.city.tsubame.niigata.jp/">http://www.city.tsubame.niigata.jp/</a>	
応募宛先 〒959 - 0295 新潟県燕市吉田西太田 1934 番地 東京つばめいと事務局 (燕市役所地域振興課交流推進係)	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 26 : 新潟県<sup>じょうえつし</sup>上越市 (人口: 198,356人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

板倉区寺野地区：上越妙高駅(北陸新幹線)及び新井駅(妙高はねうまライン)から車で約25分  
 路線バス...【山寺薬師線】新井駅(新井バスターミナル) バス停「猿供養寺」で下車  
 駅から開催場所への送迎については、ご相談ください。

(2) 事業実施の目的等

地域のイベントへの参加や各種体験、築100年以上の古民家での滞在を通じ、山里の暮らしを体験していただきます。

(3) 体験の内容

農家体験(田植え・稲刈り、高原野菜の栽培・収穫など)  
 雪国暮らし体験(薪割り、かんじき作り、雪掘りなど)  
 その他、囲炉裏・薪ストーブ、五右衛門風呂といった昔ながらの生活や、もちつきなども体験  
 できます。

(4) 受入主体

寺野の自然と暮らそうサポートセンター  
 (板倉区寺野地区)

(5) 受入期間

随時

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	・現地までの交通費：各自負担 ・参加費(宿泊費込み):1泊2日の場合、3,000円程度(予定)
<b>要件</b>	山里の暮らしに関心のある方、中山間地域へ移住をお考えの方など
<b>応募締切り</b>	各開催日の7日ほど前
<b>宿泊施設</b>	古民家など、地域の体験施設
<b>食事形態</b>	基本的に自炊( 近くの農家民宿、温泉施設で食事することもできます。)
<b>その他</b>	体験の内容、日程等ご希望に合わせて調整しますので、ご相談ください。

(7) 地域担当者から一言

受入主体の「寺野の自然と暮らそうサポートセンター」は、山里で暮らしたい人を応援しています。事務局長・北折さんは埼玉から移住し、古民家をいくつも自分で改修して、地域の人たちと交流する拠点づくりに取り組んできました。地区には2種類の温泉が楽しめる「糸しんの里 やすらぎ荘」もあり、ゆったりとした山里の暮らしを体験したい方におすすめです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 上越市	担当部署 自治・市民環境部 自治・地域振興課 中山間地域振興係
(ふりがな) ふじい かずき 担当者氏名 藤井 寿季	TEL: 025-526-5111 (内線 1431) FAX: 025-526-6114
E-mail: <a href="mailto:jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp">jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/">http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/</a>	
応募宛先 〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3	上越市役所 自治・地域振興課 中山間地域振興係

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 27 : 新潟県<sup>じょうえつし</sup>上越市 (人口: 198,356人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

大島区旭地区・吉川区川谷地区：ほくほく大島駅(ほくほく線)から車で約15~25分  
 駅から開催場所への送迎については、ご相談ください。

(2) 事業実施の目的等

地域の共同作業やイベントへの参加を通じ、地域の資源を最大限に活かす山里の暮らしを体験していただきます。

(3) 体験の内容

5月：用水普請の作業を体験(山奥の滝から田んぼまで水を引いてくる作業をお手伝い)  
 10月：アイガモ料理&新米を味わう(合鴨農法で活躍したカモをさばいて、命をいただくことを実感。新米と一緒にいただきます)  
 2月：キャンドルロード作り&ブナの森の散策(雪の中キャンドルを灯すイベント「灯の回廊」に参加。また、地域の森の中をスノーシューで散策し、春の目覚めを感じます)

(4) 受入主体

上越やまざと暮らし応援団  
 (大島区旭地区・吉川区川谷地区)

(5) 受入期間

5月7日~8日、10月29日~10月30日、  
 2月25日~26日(予定)

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	・現地までの交通費：各自負担 ・参加費(宿泊費・食事代込み): 3,000円~6,000円程度(予定)
<b>要件</b>	山里の暮らしに関心のある方、中山間地域へ移住をお考えの方など
<b>応募締切り</b>	各開催日の10日ほど前
<b>宿泊施設</b>	地域の体験施設など
<b>食事形態</b>	2食提供予定(夕食・朝食)
<b>その他</b>	詳細は決まり次第、下記HPでご案内します。

(7) 地域担当者から一言

受入主体の「上越やまざと暮らし応援団」は、山里で暮らしたい人を応援しています。事務局長・天明さんは東京出身で、山間部の吉川区川谷地区でお米とブルーベリーを栽培する農家です。体験と地元の人との交流を通じて、農業を基盤とした山里の生活を実感することができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 上越市	担当部署 自治・市民環境部 自治・地域振興課 中山間地域振興係
(ふりがな) 担当者氏名	TEL: 025-526-5111 (内線 1431) FAX: 025-526-6114
E-mail: jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp	
URL: <a href="http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/">http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/</a>	
応募宛先	〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3 上越市役所 自治・地域振興課 中山間地域振興係

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 28 : 新潟県佐渡市<sup>さどし</sup> (人口: 58,459人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 上越新幹線 新潟駅下車 新潟交通(株) 路線バス 佐渡汽船下車 (乗車時間約 15 分)  
佐渡汽船 新潟港～両津港 カーフェリー (約 2 時間 30 分) 高速船 (約 1 時間)

(2) 事業実施の目的等

離島での農業体験をはじめ、地域の方との交流により、離島での暮らしぶりや自然の豊かさ、島の人々の温かさを体験していただき、佐渡ファンになってもらう。

(3) 体験の内容

島の人との交流  
農業体験 (田植えや稲刈り)

(4) 受入主体

佐渡市

(5) 受入期間

5月に2日間(予定)、10月に3日間(予定)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：佐渡汽船新潟港ターミナルまでは全て自己負担 宿泊費・食事代：佐渡汽船ターミナルからの往復の汽船代及び滞在にかかる宿泊・食事代込みで1万円(ツアー企画)
要件	佐渡島での生活を検討している方、または田舎での生活を検討している方。
応募締切り	募集開始時に詳細を公表します。
宿泊施設	募集開始時に詳細を公表します。
食事形態	募集開始時に詳細を公表します。
その他	農作業が可能な服装が必要になります。

(7) 地域担当者から一言

離島での生活体験、伝統文化を身近で感じるとともに、地域の人々との交流で島の魅力や温かみも体感できます。佐渡を好きになるきっかけを提供します。

(8) お問い合わせ先

自治体名 佐渡市	担当部署 地域振興課 離島交流係
(ふりがな) はたけやま かずよし 担当者氏名 畠山 和義	TEL : 0259-63-4152 (直通) FAX : 0259-63-5125
E-mail : k-kikaku@city.sado.niigata.jp	
URL : <a href="https://www.city.sado.niigata.jp/">https://www.city.sado.niigata.jp/</a>	
応募宛先 〒952 - 1292 新潟県佐渡市千種 232 番地 佐渡市役所地域振興課 離島交流係	



**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 29 : 新潟県佐渡市<sup>さどし</sup> (人口: 58,459人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 上越新幹線 新潟駅下車 新潟交通(株) 路線バス 佐渡汽船下車 (乗車時間約 15 分)  
佐渡汽船 新潟港～両津港 カーフェリー (約 2 時間 30 分) 高速船 (約 1 時間)  
両津港～各地域 新潟交通佐渡 バス (20 分～40 分)

(2) 事業実施の目的等

先進国で初めて認定された世界農業遺産の象徴的な景観でもある棚田地域での、農作業、里山保全活動、地域での暮らしを体験し、暮らす人々と交流する。地域の魅力を探す。

(3) 体験の内容

農林漁業体験 (例 田んぼ: 種まき、田植え、草刈り、稲刈りなど  
竹林整備、漁師の手伝い)  
地域行事への参加 (伝統芸能支援、各種イベントのお手伝い)

(岩首地域での活動)

(4) 受入主体

佐渡市前浜地域 岩首談義所

(5) 受入期間

随時

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費・食事代: 宿泊費 2500 円～、食費 実費
要件	棚田地域での農業、文化、生活に興味があり、体力がある方
応募締切り	通年受入れ (季節によって体験作業が異なります)
宿泊施設	農林漁業体験民宿 (予定) 他 受入れ集落によって異なります。
食事形態	自炊が基本です。
その他	農作業が可能な服装、季節に合わせた装い。 長靴、軍手等の貸出あり。

(7) 地域担当者から一言

離島での生活体験、伝統文化を身近で感じるとともに、地域の人々との交流で島の魅力や温かみも体感できます。気持ち良い風の吹く棚田の景観を楽しめると思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 佐渡市	担当部署 地域振興課 離島交流係
(ふりがな) はたけやま かずよし 担当者氏名 畠山 和義	TEL: 0259-63-4152 (直通) FAX: 0259-63-5125
E-mail: k-kikaku@city.sado.niigata.jp	
URL: https://www.city.sado.niigata.jp/	
応募宛先 〒952-0857 新潟県佐渡市岩首 573 岩首談義所 (大石 090-5345-9020)	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 30 : 新潟県佐渡市<sup>さどし</sup> (人口: 58,459人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 上越新幹線 新潟駅下車 新潟交通(株) 路線バス 佐渡汽船下車 (乗車時間約 15 分)  
佐渡汽船 新潟港～両津港 カーフェリー (約 2 時間 30 分) 高速船 (約 1 時間)

(2) 事業実施の目的等

「シェアハウスで鬼太鼓を迎えてみませんか」  
佐渡を代表する郷土芸能「鬼太鼓」。島内には約 120 地区の鬼太鼓があり、集落のお祭りでは家々を一軒一軒門付けし五穀豊穡、家内安全を祈願します。そのお祭りを見るだけでなく、実際に「鬼太鼓を家で迎える」体験をし、この日は集落の一員として滞在していただくプログラムです。

(3) 体験の内容

- ・集落内のシェアハウス(集落の民家や空き家)で、鬼太鼓を迎える体験交流型イベントです。
- ・迎えるための祭り料理を地元のお母さん方と作ったり、地元若手と交流したりします
- ・もちろん鬼太鼓の見学もできます。

(4) 受入主体

女子×祭り実行委員会

(5) 受入期間

4月2回、5月1回、10月1回

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までおよび現地での交通費：自己負担 体験交流代：5,000円(食材費実費、体験代)
要件	佐渡島の地元で根付いた祭りを体験してみたい、あるいは佐渡島までの生活を検討している女性
応募締切り	募集開始時に詳細を公表します。
宿泊施設	募集開始時に詳細を公表します。
食事形態	募集開始時に詳細を公表します。
その他	女性限定の企画イベントです。ただ、お祭り自体はどなたでも見学できます。

(7) 地域担当者から一言

年に1度の地元のお祭りを、暮らすように体験できる貴重な機会だと思います。地域の人々の笑顔と鬼太鼓のかっこよさ、老若男女から愛され、誇りでもあるお祭りにどうぞお越し下さい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 佐渡市	担当部署 地域振興課 離島交流係
(ふりがな) はたけやま かずよし	TEL: 0259-63-4152 (直通)
担当者氏名 畠山 和義	FAX: 0259-63-5125
E-mail: k-kikaku@city.sado.niigata.jp	
URL: https://www.city.sado.niigata.jp/	
応募宛先	
応募連絡先 女子×祭り実行委員会 e-mail: joshi.matsuri@gmail.com	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 31 : 新潟県佐渡市さどし(人口: 58,459人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 上越新幹線 新潟駅下車	新潟交通(株) 路線バス 佐渡汽船下車 (乗車時間約 15 分)
佐渡汽船 新潟港～両津港	カーフェリー (約 2 時間 30 分) 高速船 (約 1 時間)

(2) 事業実施の目的等

廃校を活用した研修・合宿施設「深浦学舎」を拠点とした短期地域インターンプログラム 佐渡島を拠点に国内外で活動する太鼓芸能集団「鼓童」。その本拠地がある佐渡・小木に廃校を活用した研修・合宿施設「深浦学舎」を滞在拠点とし、佐渡での仕事や暮らし、生活を体感いただく「地域インターンプログラム」。佐渡島に住んでみたい、佐渡島で地域づくりに関わっていききたいなどを検討される方にお勧めのプログラムです。
---

(3) 体験の内容

・小木半島で若者の手を借りたいような農漁業(田、柿、種苗、漁など) 地域を活性化していく観光地域づくりの取組(国の重要伝統的建造物群保存地区「宿根木」)などの「地域のしごと」を手伝いながら、地域での暮らし方や祭り、生活技術などを体験できます。 ・また島の人や移住の先輩者などとの交流など、希望に応じてプログラムを作ります。
--

(4) 受入主体

公益財団法人鼓童文化財団

(5) 受入期間

通年

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までおよび現地での交通費：自己負担 宿泊費(食事・食材費(2食分)含む): 14,000円(2泊3日)～ 1週間プログラムもあり 滞在プログラムにより費用別途お見積
要件	佐渡島での生活を検討してみたい、検討している方
応募締切り	募集開始時に詳細を公表します。
宿泊施設	募集開始時に詳細を公表します。
食事形態	募集開始時に詳細を公表します。
その他	滞在中は自炊いただく場合もあります

(7) 地域担当者から一言

鼓童文化財団では地域に根差した佐渡の地域づくりに取り組んでいます。佐渡島は若い皆さんの力を必要としています。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。
---

(8) お問い合わせ先

自治体名 佐渡市	担当部署 地域振興課 離島交流係
(ふりがな) はたけやま かずよし	TEL: 0259-63-4152 (直通)
担当者氏名 畠山 和義	FAX: 0259-63-5125
E-mail: k-kikaku@city.sado.niigata.jp	
URL: <a href="https://www.city.sado.niigata.jp/">https://www.city.sado.niigata.jp/</a>	
応募宛先 〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田 150-3 公益財団法人 鼓童文化財団 佐渡太鼓体験交流館 電話:0259-86-2320	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 32 : <sup>あわしまうらむら</sup>新潟県粟島浦村 (人口: 370人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR村上駅 ~ (乗合タクシー) ~ 岩船港 : 15分  
岩船港 ~ (粟島汽船) ~ 粟島港 : 高速船55分、普通船90~105分

(2) 事業実施の目的等

- ・ 都会の若者に、「離島の暮らし」を体験してほしい。
- ・ 都会の若者に、「離島の暮らし」についての意見が聞きたい。
- ・ 都会と粟島の、橋渡しの役割を担ってほしい。  
(橋渡し = 家族・親戚・友人等に紹介、一緒に遊びに来る、など)

(3) 体験の内容

- ・ 粟島の主産業である民宿、食堂のお手伝い  
(忙しい時期は、民宿の手伝いのみとなってしまう日もあります。)
- ・ お手伝いの合間をみて、母ちゃんと農作業体験、父ちゃんと漁業体験など
- ・ 地域行事への参加 (七夕様 : 8月7日、盆踊り : 8月13、14日)

(4) 受入主体

粟島浦村

(5) 受入期間

7月下旬 ~ 8月中旬のうち  
10日 ~ 14日間程度を予定

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費 : 自己負担 (電車賃、タクシー代、船賃など) 宿泊費 : 0円 (民宿にホームステイ) 食事代 : 0円
<b>要件</b>	離島の暮らしに興味のある方
<b>応募締切り</b>	6月末 参加希望者とは、順次連絡を取っていきます。
<b>宿泊施設</b>	ホームステイ
<b>食事形態</b>	受入先にて提供していただきます。
<b>その他</b>	基本的に、食費の自己負担はありません。

(7) 地域担当者から一言

都会の暮らしとは大違いな、粟島の暮らし。魚も野菜も旬のものを食べるから旨い! そんな粟島の暮らしを、民宿や食堂の手伝いを通して体感してもらいます。夏の粟島は観光のお客さんで大わらわ! 時には家のお手伝いがすごく忙しいことも。田舎だからこそその人情や温かさなど、都会では失われてしまったものを見つけることができます。離島ならではの“粟島じかん”を、身体で感じて、感じたままを伝えてください。大勢の方のお問い合わせを、お待ちしております!

(8) お問い合わせ先

自治体名	粟島浦村役場	担当部署	総合政策室
(ふりがな)	さくま かおり	TEL :	0254-55-2111 (直通)
担当者氏名	佐久間 香織	FAX :	0254-55-2159
E-mail : <a href="mailto:seisaku@vill.awashimaura.lg.jp">seisaku@vill.awashimaura.lg.jp</a>			
URL : <a href="http://www.vill.awashimaura.lg.jp/">http://www.vill.awashimaura.lg.jp/</a>			
応募宛先	〒 958 - 0061 新潟県岩船郡粟島浦村字日ノ見山 1513 番地 11		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 33 : <sup>たかおかし</sup> 富山県高岡市 (人口: 174,958人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

加能越バス(高岡駅前=里山交流センター)20分

(2) 事業実施の目的等

自然体験を行うことで、里山を守ることの大切さや農業の楽しさを分かち合う。収穫や植え付けなどを通して、地域の良さを参加者と共有する。

(3) 体験の内容

高岡市里山交流センターを中心に活動。  
 活動例: たけのこ掘り・流しソーメン・陶芸・ミニ門松・かぶら寿しわら細工・味噌づくり、遊歩道散策・ジャガイモ・サツマイモ、枝豆、大根などの植えつけと収穫体験

(4) 受入主体

里山活性化協議会

(5) 受入期間

4月～3月  
 1日程度。活動は月1回

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
要件	自然体験を楽しみたい方
応募締切り	随時募集(毎月の活動は里山活性化協議会HPに掲載) 電話にてお申込みください。
宿泊施設	別途紹介
食事形態	イベントは昼食付です。
その他	イベント内容によっては、持ち物が必要になります。 先着順のため、人数によってはお断りすることもあります。

(7) 地域担当者から一言

高岡市里山交流センターのある国吉地区は、西山丘陵を臨む自然豊かな場所です。緑豊かな里山を中心に、グリーン・ツーリズム体験をしてみませんか?  
 里山の散策や、たけのこのバーベキューなど普段体験できないイベントを多数行っています。是非参加してください!(HPで活動内容を確認ください)

(8) お問い合わせ先

自治体名	高岡市	担当部署	産業振興部農業水産課 農政担当
(ふりがな)	よしの たけし	TEL:	0766-31-6617(里山活性化協議会 直通)
担当者氏名	吉野 武司(里山活性化協議会)	FAX:	0766-31-6618(里山活性化協議会 直通)
E-mail:	satoyama@senmaike.net		
里山活性化協議会 HP:	<a href="http://www.senmaike.net/satoyama/index.html">http://www.senmaike.net/satoyama/index.html</a>		
高岡市 HP:	<a href="http://www.city.takaoka.toyama.jp/nosui/sangyo/norinsuisan/satoyama.html">http://www.city.takaoka.toyama.jp/nosui/sangyo/norinsuisan/satoyama.html</a>		
応募宛先	〒 933 - 0968 富山県高岡市国吉 1324-1		里山活性化協議会

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 34 : <sup>たかおかし</sup> 富山県高岡市 (人口: 174,958人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

送迎が出来るので担当者と要相談

(2) 事業実施の目的等

自然を愛し、趣味に興味を持つ人が集まり、野菜作りや趣味の活動の中で、先憂後楽語り合い、ふれあいのひと時を過ごす楽しくも癒しのある会  
 荒廃する山林、竹林の再生、里田の再生、古民家の再生を行い、地域社会に貢献する

(3) 体験の内容

農業で汗を流し、自然の恵みに感謝し食事をとり、趣味の世界で交友を深める。  
 春は竹林でタケノコ掘り・BQを楽しむ。秋は各野菜の収穫をし、旬を味わう。冬には豆餅・昆布・ユズ餅、などの餅つきを行う。又木工細工。竹細工、縄細工なども行う。  
 各月の第1及び第3の土曜日に例会を開く。

(4) 受入主体

悠遊会

(5) 受入期間

4月～3月毎月活動

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
<b>要件</b>	ゆったりとした生活を送りたい方。自然に関わる活動がしたい方。
<b>応募締切り</b>	随時募集 担当者と相談してください。
<b>宿泊施設</b>	近隣の民宿など
<b>食事形態</b>	お釜炊のご飯と旬の具材での食事
<b>その他</b>	高岡市頭川地区で活動

(7) 地域担当者から一言

悠遊会は、名前の通り、悠遊とした暮らしを目指す会です。  
 自然とうまく共生し、自然の恵みを大切に活動します。  
 そんなゆったりとした活動にあなたも参加してみませんか?(HPで活動を確認してください)

(8) お問合せ先

自治体名	高岡市	担当部署	産業振興部農業水産課 農政担当
(ふりがな)	よしの たけし	TEL:	0766-24-3763
担当者氏名	吉野 武司(悠遊会)	携帯:	090-3295-7562
E-mail: zukawa1944@gmail.com			
悠遊会HP: URL: <a href="http://www.senmaike.net/yyuyuu/">http://www.senmaike.net/yyuyuu/</a>			
頭川自治会HP: <a href="http://zukawa-t.jimdo.com/">http://zukawa-t.jimdo.com/</a>			
応募宛先	〒933-0978 高岡市頭川2993	悠遊会	吉野武司

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 35 : <sup>たかおかし</sup> 富山県高岡市 (人口: 174,958人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 氷見線(高岡駅 = 雨晴駅)20分  
 送迎バス(雨晴駅 = 自然休養村)10分

(2) 事業実施の目的等

多くの若者等に高岡市太田の農業・自然体験をしてもらい、太田の魅力などの意見を聞いて、今後の事業などに取り入れる。

(3) 体験の内容

高岡市自然休養村で、農作業・収穫体験などのグリーン・ツーリズムを行う。  
 例：ブドウ、りんご等の摘果・収穫体験(殿山農園)さつまいも掘り、(太田農園) 石焼きイモづくりなど

(4) 受入主体

一般社団法人高岡市自然休養村公社

(5) 受入期間

4月～11月  
 1日程度(先着順)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
要件	自然体験を楽しみたい方
応募締切り	随時募集(一年の活動は自然休養村HPに掲載) 電話にてお申込みください。
宿泊施設	高岡市自然休養村にて宿泊できます。
食事形態	高岡市自然休養村の宿泊者に提供できます。(昼食は軽食を提供。夕飯は宿泊客のみ)
その他	4人以上の団体対象 少人数の場合、受け入れが出来ないこともあります。

(7) 地域担当者から一言

高岡市自然休養村(アップレハウス)のある太田地区は、富山湾越しに3,000m級の立山連峰を望む雨晴海岸をはじめ、文化・歴史、古くは万葉集の息吹を感じることができます。アップレハウスは雨晴海岸を一望でき、自然体験活動の合間には「世界で最も美しい湾クラブ」に選ばれた壮大な風景が目に入るでしょう。このような素晴らしい立地にある高岡市自然休養村で、ブドウ摘みやさつまいも収穫といった体験をしてみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名	高岡市	担当部署	産業振興部農業水産課 農政担当
(ふりがな)	おおむら とものり	TEL	: 0766-44-6800
担当者氏名	大村 友則	FAX	: 0766-44-7818
	(一般社団法人高岡市自然休養村公社)		(いずれも一般社団法人高岡市自然休養村公社直通)
E-mail	: info@appare-house.org		
自然休養村	アップレハウス HP : <a href="http://www.appare-house.org/">http://www.appare-house.org/</a>		
高岡市 HP	: <a href="http://www.city.takaoka.toyama.jp/nosui/sangyo/norinsuisan/satoyama.html">http://www.city.takaoka.toyama.jp/nosui/sangyo/norinsuisan/satoyama.html</a>		
応募宛先	〒 933 - 0133		
	富山県高岡市太田 6 5 6 6 - 1	一般社団法人	高岡市自然休養村公社

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 36 : 富山<sup>たかおかし</sup>県高岡市 (人口: 174,958人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

あいの風とやま鉄道(高岡駅=福岡駅)10分

高岡市公営バス・五位山線(福岡駅前=山ぼうし前)50分 ロッジ・やまぼうし

## (2) 事業実施の目的等

五位山地域において、農業・自然体験・イベント等を通じ地域住民とのコミュニケーションを図るなど、地域活性化及び定住促進に繋げるもの。

## (3) 体験の内容

五位山交流館及び「とやま・ふくおか家族旅行村」を核とし、周辺地域での農業体験(竹林整備、草刈、収穫体験)や地域間交流イベントの参加などを行う。

## (4) 受入団体

五位山活性化協議会

## (5) 受入期間

8月~11月(予定) 要相談

2泊3日 4組(1組2名)

秋季4組

## (6) 応募上の注意

費用負担	・現地までの交通費:自己負担 ・宿泊費:1/2補助(指定範囲) ・食事代:昼のみ自己負担
要件	自然体験、農業体験 体験による空き家定住希望者等
応募締切り	随時募集 活動状況は、「とやま・ふくおか家族旅行村」HP掲載
宿泊施設	地区内空き家、五位山交流館、「とやま・ふくおか家族旅行村」
食事形態	【「とやま・ふくおか家族旅行村」ロッジやまぼうし】
その他	1組2人以上を原則とします。

## (7) 地域担当者から一言

当、地域周辺は豊かな自然に囲まれた中山間地にあります、現在地域の人口は減り続け高齢者が占める割合も年々高くなる等、地域や地域産業(農林)の維持存続を図るためにも、新たな若い方等を招き地域の活性化(村おこし)に繋がりたいと努力をしております、是非、お力をお貸しください。

## (8) お問い合わせ

自治体・担当部署名:高岡市福岡総合行政センター 産業建設課

(ふりがな) ひらき しょうへい

TEL (0766) 64 - 1426 (直通)

担当者氏名 開 昌平

FAX (0766) 64 - 0566

<https://www.city.takaoka.toyama.jp/joho/shise/gaiyo/nogyosuisan/kezaishinko/index.html>

応募宛先 〒939 - 0132 富山県高岡市福岡町大滝 12



# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 37 : <sup>たかおかし</sup>富山県高岡市 (人口: 174,958人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

あいの風とやま鉄道(高岡駅=福岡駅)10分

高岡市公営バス・五位山線(福岡駅前=山ぼうし前)50分 ロッジ・やまぼうし

## (2) 事業実施の目的等

「菅笠」は日本の伝統を物語る道具のひとつ。越中福岡の菅笠製作技術は、平成21年に国の重要無形民俗文化財に指定されたが、現状はスゲ栽培農家の高齢化が進み、スゲ田の減少が著しいため、ボランティアの活動支援や後継者育成を図り、菅笠づくりの技の継承と振興を目的に日本の菅笠を次世代につなぐ活動を進めている。

## (3) 体験の内容

スゲ田(学校田や試験田など)の栽培体験、菅笠づくり体験、地元との交流など

## (4) 受入団体

越中福岡の菅笠製作技術保存会  
越中福岡スゲ生産組合  
スゲ支援グループSUGET

## (5) 受入期間

5~10月 スゲ栽培  
5月中下旬・6月初旬 芽欠き  
7月下旬~8月始め 刈取、天日干し  
9~10月 苗取り  
10月初旬 田植え  
冬場 菅笠づくり

## (6) 応募上の注意

費用負担	・現地までの交通費:自己負担 ・宿泊費:自己負担 ・食事代:自己負担
要件	菅笠づくり(スゲ栽培、笠骨づくり、笠縫い)に興味のある方 楽しみながら菅笠づくりを身につけたい方
応募締切り	随時、電話、Eメール等で申し込みください。
宿泊施設	公共宿泊施設、民泊など
食事形態	自己負担
その他	農作業服、汗ふき、長靴持参

## (7) 地域担当者から一言

時代劇や伝統の祭り・踊りなどで使われている菅笠。古代8世紀には生業として生産されていた。15世紀には菅笠座ができている。菅笠は天皇即位式や伊勢神宮の式年遷宮に使う神宝の1つ。まずは伝統の技「菅笠づくり」にふれてみませんか。

## (8) お問い合わせ

自治体・担当部署名: 高岡市福岡総合行政センター 地域振興課

(ふりがな) たちばな みわこ TEL (0766) 64-1423 (直通)

担当者氏名 橘 美和子 FAX (0766) 64-5344

応募宛〒939-0132 富山県高岡市福岡町大滝12 0766-64-1423 Fax0766-64-5344

Eメール f-chiki@city.takaoka.lg.jp

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

なめりかわし  
 - 38 : 富山県滑川市 (人口: 33,520人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

あいの風とやま鉄道 滑川駅 下車 徒歩 10分 市庁舎本館まで
------------------------------------

(2) 事業実施の目的等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏の若い世代に本市の住み良さに直に触れていただき、定住先として意識してほしい。</li> <li>・トレンドに敏感で感受性に優れ、SNS等の扱いに長けた女子大生の発信力を本市のPRに活用したい。</li> </ul>
--

(3) 体験の内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅への7日間の体験入居(1名から応募可能。現地では5名程度のグループ単位で活動。)</li> <li>・住民目線で市内の商業施設や公共施設を利用し、観光客目線で観光スポットも満喫(自由行動)</li> <li>・本市の住みよさに関する講話と産業観光など(市職員らが講師を務めます)</li> <li>・SNS(ブログやツイッター、動画共有サイト)で本市滞在中の感想、思い出を発信</li> </ul>
---

(4) 受入主体

滑川市
-----

(5) 受入期間

開催期間: 8月1日(月) ~ 9月30日(金) 受入期間: 1グループにつき上記期間のうち7日間
--

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費: 1名につき最大 15,000 円助成(往復交通費) 宿泊費: 無料 食事代: 1名につき最大 30,000 円助成
<b>要件</b>	首都圏(東京、埼玉、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、山梨)の女子大生
<b>応募締切り</b>	7月中旬(予定) 応募多数の場合は先着順に締め切らせていただきます。
<b>宿泊施設</b>	滑川市定住促進住宅「サンコーポラス吾妻」 公営住宅の空き部屋
<b>食事形態</b>	市内飲食店の利用や弁当購入、滞在先公営住宅における自炊等(原則自由行動)
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR 特産品進呈</li> <li>・所定の公共施設利用料免除</li> </ul> 市内ではグループごとにワンボックスカーで移動いただきます。 交通費・食事代の助成について: 一旦ご本人様で費用を立替えていただき、後日活動結果を精査のうえで還付いたします。

(7) 地域担当者から一言

実際に1週間住んでいただく中で、ホタルイカ等の特産品やダイビング、パークゴルフ等のアウトドアスポットとしての魅力に直に触れ、滑川市を満喫してください! 女子大生の皆様の柔らかい感性で、ブログやツイッター、動画共有サイト等を通じ、本市での楽しい思い出や実際に住んでみて良かった点などを発信していただきたいと思います。
--

(8) お問い合わせ先

自治体名 滑川市	担当部署 総務部企画政策課企画調整担当
(ふりがな) ねがみ ゆうすけ	TEL: 076-475-2111(内線222)
担当者氏名 根上 雄輔	FAX: 076-475-6299
E-mail: kikaku@city.namerikawa.toyama.jp	
URL: http://www.city.namerikawa.toyama.jp	
応募宛先 〒936-8601	富山県滑川市寺家町104番地 滑川市役所 総務部企画政策課 宛

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 39 : 福井県<sup>ふくいし</sup>福井市 (人口: 262,623人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 福井駅 徒歩1分  
 (福井駅までのアクセス 東京から約3時間30分、大阪から約1時間50分、名古屋から約2時間)

(2) 事業実施の目的等

- ・ 企業見学やU・Iターン者との座談会、アイデアプランコンテスト等を組み合わせた大学生向けイベントを通して、福井の企業や生活環境について知り、福井へのU・Iターン就職を考えるきっかけとしてほしい
- ・ 若者にとって魅力ある職場づくりを進めるため、学生の自由なアイデアを企業の取り組みに活かしていきたい

(3) 体験の内容

- ・ 市内企業における企業見学やインターンシップ
- ・ 市内企業経営者や福井市へのU・Iターン者との座談会
- ・ 福井駅周辺でのまちなか探索
- ・ 福井市へのU・Iターン促進に関するアイデアプランコンテスト

(4) 受入主体

福井市

(5) 受入期間

8月中旬～9月中旬  
 のうちの5泊6日を予定

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：県外からの参加者は福井駅までの往復交通費の半額を補助 (上限15,000円) 宿泊費：無料 食事代：自己負担
要 件	福井に興味のある大学生(就職内定者を除く)
応募締切り	8月上旬
宿泊施設	市内宿泊施設
食事形態	自己負担
そ の 他	最終日に開催するアイデアプランコンテストで成績優秀だった方には福井市の特産品をプレゼントします。

(7) 地域担当者から一言

共働き率や女性の就業率が全国トップレベルの「しごと先進自治体」である福井市の企業や雇用環境を知り、福井市で働くことについて一緒に考えてみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 福井県福井市	担当部署 商工労働部労政課
(ふりがな) きむら たかひろ	TEL: 0776-20-5321 (直通)
担当者氏名 木村 貴弘	FAX: 0776-20-5323
E-mail: rousei@city.fukui.lg.jp	
URL: <a href="http://fukuisummerncamp.wix.com/fukui">http://fukuisummerncamp.wix.com/fukui</a>	
応募宛先 〒 910-8511 福井県福井市大手3丁目10-1 福井市役所 労政課宛	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 40 : 福井県<sup>かつやまし</sup>勝山市 (人口：24,462人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸線 福井駅 えちぜん鉄道 福井駅 ~ 勝山駅 (福井駅から約50分)  
 徒歩5分(勝山市役所)

(2) 事業実施の目的等

勝山市の基幹産業である農業などを通して、地元の方々との交流人口を増やし地域活性化を図ると共に勝山ファンになっていただく。

(3) 体験の内容

農作業のお手伝い：農産物の収穫や農地の草刈りなど(農家によって作業が異なります)  
 牧場のお手伝い：ジャージー牛やヤギのお世話  
 雪作業のお手伝い：雪かきや冬支度など  
 地域伝統を守るお手伝い：地域の伝統的な祭りの保存・運営  
 地域活性化のお手伝い：公園管理など  
 天候によっては作業内容が変更になる場合があります。

(4) 受入主体

勝山田舎暮らし体験応援倶楽部キラリ

(5) 受入期間

時期：通年  
 期間：1～3泊程度(長期の場合は相談下さい)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：基本無料(内容によって異なります) 食事代：1日1,000円程度(内容によって異なります)
要件	原則18歳以上で、健康な方で田舎暮らしや農作業に興味がある方
応募締切り	参加希望日の10日前まで
宿泊施設	市内の農家民泊又は宿泊施設
食事形態	宿泊先での食事又は自炊
その他	長靴などの道具の貸出あり(100円/アイテム)

(7) 地域担当者から一言

日本最大級の恐竜博物館がある勝山市ですが、地域一丸となって特産品作りに励む集落や住民が1人となった集落などさまざま、冬には雪が3メートル近く積もる豪雪地帯でもあります。是非、一度勝山市を訪れ、キラリと光る勝山の魅力を見つける力を貸してください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 勝山市	担当部署 農林部 農業政策課 農業振興グループ
(ふりがな) とりやま あらき 担当者氏名 鳥山 新樹	TEL：0779-88-8106(直通) FAX：0779-88-1118
E-mail：nougyou@city.katsuyama.lg.jp	
URL：http://kirarikatsuyama.wix.com/kirari(勝山田舎暮らし体験応援倶楽部キラリ)	
応募宛先 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 勝山市役所農業政策課内	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 4 1 : 福井県<sup>えちぜん</sup>越前市 (人口: 83,620人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 北陸線 武生駅下車  
バス: JR 武生駅前から和紙の里下車 30分

(2) 事業実施の目的等

越前和紙の技法を習得するために市外から訪れる短期滞在者等又は伝統産業に関心を持つ市民の作品の製作を通じて、都市と地方の交流連携を深め地域産業の活性化を図る。

(3) 体験の内容

越前市越前てわざ工房における紙漉き体験

(4) 受入主体

福井県和紙工業協同組合

(5) 受入期間

開館時間: 午前9時から午後10時まで  
休館日: 毎週火曜日及び  
12月28日から翌年1月3日

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担 工房市使用料: 9時から12時200円、12時から17時300円、17時から22時400円、9時から22時700円
要件	越前市伝統産業体験施設設置及び管理条例の規程による。
応募締切り	随時
宿泊施設	越前市越前長屋、農家民泊又はホテル等
食事形態	越前市越前長屋については自炊 その他の施設については要交渉
その他	

(7) 地域担当者から一言

和紙漉きの魅力、技術等を伝統工芸士から学ぶことができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 越前市	担当部署 産業環境部産業政索課工芸の里推進室
(ふりがな) アザキ マサシ 担当者氏名 姉崎 昌剛	TEL: 0778-22-3047 (直通) FAX: 0778-22-5167
E-mail: syoukou@city.echizen.lg.jp	
URL: <a href="http://www.washi.jp/activity/">http://www.washi.jp/activity/</a>	
応募宛先 〒915-0234 福井県越前市大滝町1-1 福井県和紙工業協同組合 電話 0778-43-0875	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 42 : 山梨県<sup>こすげむら</sup>小菅村 (人口: 739人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 青梅線 奥多摩駅下車 西東京バス 棚沢橋停留所

(2) 事業実施の目的等

- ・学生と村民をつなげることで、学生にも村民にも生き生きとした時間を過ごしてほしい。
- ・より多くの大学とのつながりを作り、多様な学生に村で活動してほしい。
- ・若い人に小菅村の魅力を知ってほしい。

(3) 体験の内容

- ・神社祭典への参加
  - ・源流体験教室インストラクター体験
  - ・その他地域行事や農作業への参加
- (必要・要望に応じて追加・変更)

(4) 受入主体

NPO法人多摩源流こすげ

(5) 受入期間

8月上旬 ~ 9月下旬  
期間中2週間程度

(6) 応募上の注意

費用負担	・現地までの交通費：自己負担（新宿から電車とバスで片道約2,000円） ・宿泊費：不要 ・食事代：自己負担
要件	・源流地域の地域づくりに興味があり、積極的に取り組める人 ・人とかかわることが好きな人
応募締切り	6月30日（木）必着 別添の参加申込書及び小論文に必要事項を記載の上、下記応募先まで郵送にて提出してください。
宿泊施設	受入側が用意します。
食事形態	基本的に宿泊施設で自炊。
その他	虫よけ・防寒のため長袖・長ズボンを用意してください。

(7) 地域担当者から一言

小菅村は「東京から一番近い村」で周囲を豊かな自然と3つの峠に囲まれた小さな谷合の村です。陽気で働き者の村民の皆さんや村に移住してきた若者たちと一緒に汗を流して、小菅村であなたの「居場所」を作ってみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名	小菅村	担当部署	源流振興課
(ふりがな)	きたざわ たかゆき	TEL :	0428-87-0111 (内線133)
担当者氏名	北沢 孝之	FAX :	0428-87-0933
E-mail :	t-kitazawa@vill.kosuge.yamanashi.jp		
URL :	http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp		
応募宛先	〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村1911 多摩川源流大学内		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 43 : 長野県<sup>まつもと</sup>松本市 (人口: 241,670人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR中央本線 松本駅 集合予定

(2) 事業実施の目的等

- ・自然と文化が融合し、都市としての機能も併せ持った松本のまちを体感していただき、I・Jターンのきっかけとしてもらいたい。
- ・松本の企業訪問等を通じて、本市での就職、生活を現実的なものとしてイメージして欲しい。

(3) 体験の内容

- ・松本市の企業訪問(地域密着の企業) 説明会及び相談会
  - ・市内見学等
- 1泊2日の行程を予定しています。

(4) 受入主体

松本市

(5) 受入期間

平成28年8月中の2日間

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：各自の負担となります。 宿泊費、食事代：松本市が負担予定です。
要件	卒業後、地方での就職、I・Jターンを検討している大学3年生
応募締切り	体験日の2週間前
宿泊施設	松本駅近郊の宿泊施設(ビジネスホテル等)
食事形態	1日目の昼、夜食、2日目の朝、昼食を提供予定
その他	行程等詳細につきましては本市ホームページでご案内予定です。

(7) 地域担当者から一言

東京、名古屋からは車、電車で2、3時間の距離にある地方都市です。  
田舎過ぎず、都会過ぎない松本のまちにぜひお越しください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	松本市	担当部署	政策部政策課 政策担当
(ふりがな)	やまもと しゅうへい	TEL	0263-34-3274(直通)
担当者氏名	山本 修平	FAX	0263-34-3201
E-mail	seisaku@city.matsumoto.nagano.jp		
URL	http://www.city.matsumoto.nagano.jp/		
応募宛先	〒390-8620 長野県松本市丸の内3-7		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 44 : <sup>こうみまち</sup>長野県小海町 (人口: 4, 845人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR小海線 小海駅  
・北陸新幹線 東京駅から佐久平駅(約1時間20分) ・小海線 佐久平駅から小海駅(約40分)

(2) 事業実施の目的等

小海町では少子高齢化、過疎化などが進行しており、“地域の担い手不足”という課題に直面しています。そこで「田舎暮らしインターンシップ」では「田舎暮らしに興味がある」「農林業を始めてみたい」「地域の活性化に携わってみたい」といった方たちを対象に小海町を活動の場として、この地域ならではの様々な仕事を体験してもらい、また交流を通して、地域の魅力、地域活性のヒントを感じてもらおう新たなつながりを目的とします。

(3) 体験の内容

研修期間は1期間を1週間とし、申込みは随時、受け付けます。

農業体験(主に白菜、レタス、キャベツ等の高原野菜各農家)

- ・土づくり(4月~5月) ・畝立て、マルチ張り(5月) ・育苗(4月~8月)
- ・定植(4月~8月) ・収穫(6月~10月) の体験及び技術の習得

林業体験(森林組合)

- ・地拵え、植え付け ・下刈り ・除伐 ・間伐 ・主伐 の体験及び技術の習得

商業部門

- ・豆腐店  
1大豆洗浄 2浸漬 3粉碎 4煮沸 5ろ過(おから分離) 6凝固  
7カット 8水さらし 9パック詰 10配達 の体験及び技術の習得
- ・パン屋  
1材料準備 2生地を作る 3第一発酵 4分割・丸め 5ベンチタイム  
6成形・型詰め 7第二発酵 8焼成 9販売といった製造工程の体験及び技術の習得
- ・他にジャム加工者、養蜂店、飲食店、建設業等事業所、観光宿泊業などを体験してもらい、地域づくりへの提言をいただきます。

(4) 受入主体

小海町

(5) 受入期間

平成28年4月1日(金)~  
平成29年3月17日(金)

(6) 応募上の注意

費用負担	小海町の負担分・・・宿泊費、損害保険代 参加者負担分・・・上記以外(現地までの交通費、食事代など)
要件	小海町での暮らしに興味のある方、農林商業等を体験してみたい方、地域活性化に興味のある方
応募締切り	随時(最終締め切り:平成29年2月28日(火))
宿泊施設	民宿及び旅館
食事形態	民宿及び旅館では、朝食、夕食は用意できますが、自己負担となります。 昼食は各自
その他	作業ができる用意してください。



( 7 ) 地域担当者から一言

町内の農家さん、林業経営者、パン家さん・豆腐店等商業を営む店舗等の元で、小海町での仕事を体験してもらいます。高原のきれいな空気のなかで仕事をしてみませんか。小海町ではあなたのやる気と地域づくりの提言を必要としています。

( 8 ) お問合せ先

自治体名	小海町役場	担当部署	総務課企画係
担当者氏名	井出 智善、柳澤 武彦、原 和洋	TEL : (代表) 0267-92-2525 (内線) 141	FAX : 0267-92-4335
E-mail :	koumi@koumi-town.jp		
URL :	<a href="http://www.koumi-town.jp/">http://www.koumi-town.jp/</a>		
応募宛先	〒384 - 1192 長野県南佐久郡小海町大字豊里 57-1		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 45 : 岐阜県<sup>みたけちょう</sup>御嵩町 (人口: 18,763人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

名古屋鉄道広見線 御嵩駅下車 徒歩約 10 分

(2) 事業実施の目的等

- 町域の約 60%を山林が占め、希少動植物が生息する貴重な自然環境を有する里山のまちで、岐阜県で唯一「環境モデル都市」に認定されています。
- 昨年度は外務省主催の「地域の魅力発信セミナー」にて各国大使を御嵩町に招き地域の魅力をPRするなど、増加しつつある外国人観光客に向けたインバウンドにも力を入れています。
- 農業体験や里山保全体験などを通じて、地域住民と交流をすることで、地域の活性化に向けたきっかけづくりを図ることを目指しています。

(3) 体験の内容

- 農林業体験  
化学農薬・肥料に頼らず、古くから伝わる伝統的な手法を取り入れた農法などを学びます。
- 里山保全体験  
里山をフィールドにして、地域の森林を守る活動などを学びます。
- 政策提案等報告会の実施  
まちへの政策提案や地域での体験活動の報告会を行います。
- その他  
希望する体験があれば、できる範囲でご対応します。

(4) 受入主体

御嵩町

(5) 受入期間

概ね7月~9月、1週間から10日程度  
参加希望者と要相談

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
要件	地域づくりに興味がある大学生・大学院生 公共交通機関を利用してご来町ください。
応募締切り	希望日の概ね1か月前までに、メール等でご相談ください。
宿泊施設	町内宿泊施設など
食事形態	町内飲食店など
その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

学生のみなさんが活動を通じて、新たな人とのつながりを構築したり、さまざまな知識を習得できるようサポートしていきたいと思えます。  
過去2年間で大阪や愛知、関東方面からのべ7名の大学生が御嵩町を訪れ、地域との交流を図っています。  
体験終了後も町主催のワークショップへの参加や、東京でのイベント「町イチ!村イチ!」へお手伝いに来て頂くなど、良い繋がりを築いています。  
ぜひ町に足を運んでいただき、“御嵩町のファン”になってください。

( 8 ) お問い合わせ先

自治体名 御嵩町	担当部署 総務部まちづくり課まちづくり推進係
(ふりがな) さばし りょうた 担当者氏名 佐 橋 良 太	TEL : 0574-67-2111 (内線 2235) FAX : 0574-67-1999
E-mail : matidukuri@town.mitake.lg.jp	
URL : <a href="http://www.town.mitake.gifu.jp/">http://www.town.mitake.gifu.jp/</a>	
応募宛先 〒505-0192 岐阜県可児郡御嵩町御嵩 1239-1 御嵩町 まちづくり課 まちづくり推進係 あて	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 46 : 三重県津市<sup>っし</sup>(人口: 283,031人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄名張駅下車 三重交通バス中太郎生バス停(所要時間約45分)

(2) 事業実施の目的等

美杉地域における豊かな自然と歴史資源、地域・民間活力を活用し、都市住民に田舎暮らし(宿泊・農作業体験・自然散策等)を体験させる「美杉の魅力発見塾」を実施することにより、定住へと繋げることを目指し、地域の活性化・津市の元気づくりの推進を図ることを目的としています。

(3) 体験の内容

・農業体験(稲作や野菜・山の幸収穫等)	・セラピーロード体験	・そば打ち体験
・ホタル狩り体験	・田舎こんにやく作り体験	
・美杉木工体験	・町歩き(史跡めぐり)	
・フジバカマ畑散策(アサギマダラ観察)	・滝めぐり	体験内容は一例です。

(4) 受入主体

太郎生地域づくり協議会

(5) 受入期間

平成28年4月～平成29年3月(1年間)  
最大2泊3日

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費・食事代: 自己負担 (美杉の魅力発見塾による宿泊: お1人様5,000円(食事付))
要件	直接たろっと三国屋へ「体験でお願いします。」とお申込みください。(要予約) お申込先: 059-273-0001
応募締切り	水曜定休日 営業時間10時～16時 営業時間中にお電話でお申込みください。
宿泊施設	たろっと三国屋(民宿 シャワー設備有 近くに「姫石の湯」温泉有)
食事形態	自己負担 地元食材を活かした食事を提供します。
その他	体験内容は予約時にご相談ください。

(7) 地域担当者から一言

都会の喧騒からしばし離れて、自然豊かな環境に癒され、田舎ならではの体験ができます。地元食材で作られる田舎料理と、ゆっくりとした時間を満喫してください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	津市	担当部署	津市美杉総合支所 地域振興課 地域振興担当
(ふりがな)	すば まさゆき	TEL:	059-272-8082
担当者氏名	須場 督介	FAX:	059-272-1119
E-mail: 272-8080@city.tsu.lg.jp			
URL: http://www.info.city.tsu.mie.jp/			
応募宛先	〒515-3536		
三重県津市美杉町太郎生2046番地4 たろっと三国屋 (電話: 059-273-0001)			

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 47 : <sup>まつさかし</sup>三重県松阪市[飯南地域] (人口：167,443[4,948]人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東海紀勢本線・名松線、近鉄山田線 松阪駅下車 三重交通バス松阪駅乗車後約 50 分  
三重交通バス停[畑井]下車後つり橋を渡って徒歩約 10 分

(2) 事業実施の目的等

先人の苦労により築かれた石の芸術「深野だんだん田」からは、世界のブランド「松阪牛」や、かつては紀州藩の銀札に使用され、明治初期日本の切手第 1 号の素材に選ばれた伝統工芸の「深野和紙」を生み、さらには温暖な気候から縄文文化が栄え、味わい深い「深蒸煎茶」を育てています。また、「伊勢本街道」と「和歌山街道」が東西に通じ、街道沿いにはお伊勢参りの宿場が栄えた交通の要所でもありました。このような地域の宝を生かしたイベントとして、前夜祭では『深野棚田石灯まつり』と『旅籠みち夢行燈』、本祭では4月からリニューアルオープンするリバーサイド茶倉と井尻遺跡をメイン会場に、田舎の古き伝統文化や歴史を通じて体験や交流を行う『いにしへのむらまつり』を開催するものです。

(3) 体験の内容

県内外より宿泊体験付きボランティアスタッフを募集します。  
詳細な内容は未定ですが、竹灯籠の作成や設置、竹灯籠ろうそくの点灯、体験交流ブースなどお手伝いをしていただく予定です。

(4) 受入主体

いにしへのむらまつり実行委員会

(5) 受入期間

10月14日(土)～10月15日(日)  
2日間

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：実費 宿泊費：実費 食事代：実費
要件	20歳以上の大学生及び大学院生
応募締切り	9月16日(金)必着 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者まで郵送(FAX、メール)してください。
宿泊施設	リバーサイド茶倉 本館宿泊またはコテージ宿泊
食事形態	本館・コテージ共に、素泊りか食事付を選択していただきます。
その他	

(7) 地域担当者から一言

第1回目のお祭りです。地域の方々と一緒になって楽しみ、次へつながるアイデアとパワーをください。美味しい地酒もぜひ飲みましょう。SNSなどで積極的な発信もお願いします！

(8) お問い合わせ先

自治体名 松阪市	担当部署 飯南地域振興局地域振興課 総務担当
(ふりがな) なかむら はじめ	TEL：0598-32-2511(直通)
担当者氏名 中村 元	FAX：0598-32-3771
E-mail：chishin.nan@city.matsusaka.mie.jp	
URL：	
応募宛 〒515-1411 三重県松阪市飯南地域振興局地域振興課 総務担当 宛	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 48 : <sup>まつさかし</sup>三重県松阪市[飯南地域] (人口：167,443[4,948]人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東海紀勢本線・名松線、近鉄山田線 松阪駅下車 三重交通バス松阪駅乗車後約 50 分  
三重交通バス停[畑井]下車後吊り橋を渡って徒歩約 10 分

(2) 事業実施の目的等

飯南地域は、若年層の流出が著しく高齢化が進行しており、空き家が増加するだけでなくコミュニティ力の低下に拍車をかけている状況です。一方で、都市部において失いつつある、自然の中での子育てやたとえ収入が低くても心豊かに生きる「田舎暮らし」の人気が高まってきています。このような状況の中で、移住交流と空き家の利活用を積極的に推し進めるため、移住願望があり結婚願望のある都市部や外国の若者の出逢いの場をセッティング。4月にリニューアルオープンするリバーサイド茶倉に宿泊して、交流や夜なべで語り合います。翌日は、カウンティフェア(アメリカ風夏祭り)で、異国の遊びや交流を楽しみましょう。

(3) 体験の内容

1日目 出逢いの場を創出  
・交流パーティ、ピザ焼き体験、深蒸し煎茶の作法、星空観察、花火、夜なべ座談会など  
2日目 カウンティフェア(アメリカ風夏祭り)  
・遊びや体験ブース、踊りやダンス、演奏、飲食ブースなど

(4) 受入主体

カウンティフェア実行委員会

(5) 受入期間

9月17日(土)～9月18日(日)  
2日間

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：実費 宿泊費：実費 食事代：実費
要件	20歳以上の大学生及び大学院生
応募締切り	9月16日(金)必着 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者まで郵送(FAX、メール)してください。
宿泊施設	リバーサイド茶倉 本館宿泊またはコテージ宿泊
食事形態	本館・コテージ共に、素泊りか食事付を選択していただきます。
その他	

(7) 地域担当者から一言

初めての試みです。新しい出逢いをキューピットできれば幸いです。美味しい地酒もぜひ飲みましょう。SNSなどで積極的な発信もお願いします！

(8) お問合せ先

自治体名	松阪市	担当部署	飯南地域振興局地域振興課 総務担当
(ふりがな)	なかむら はじめ	TEL	: 0598-32-2511 (直通)
担当者氏名	中村 元	FAX	: 0598-32-3771
E-mail : chishin.nan@city.matsusaka.mie.jp			
URL : http://www.			
応募宛先	〒515-1411	三重県松阪市飯南地域振興局地域振興課	総務担当 宛

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 49 : <sup>あやべ</sup> 京都府綾部市 (人口: 33,574人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR綾部駅に下車後、市営あやバス「綾部駅南口」バス停からあやバス西坂線に乗車、33分間で「かじや」バス停にて下車(綾部市里山交流研修センターは「かじや」バス停すぐ)

(2) 事業実施の目的等

**【あやべ里山サポーターになろう!】**  
 閉校となった小学校を再活用した「綾部市里山交流研修センター」を、指定管理者「里山ねっと・あやべ」が都市農村交流と地域振興に役立てています。2016年秋は、地元木材普及のための「京都丹州もくもくフェスタ」や地域の売店「空山の里」の感謝祭、地元の秋祭り「小畑祭り」など、お手伝いできるイベントが沢山あります。地元の方との交流を楽しみながら、秋の里地里山の空気を満喫してください。

(3) 体験の内容

- (1) 「京都丹州もくもくフェスタ」(9月)のお手伝い(会場設営など)
- (2) 「空山の里」感謝祭のお手伝い(9月)のお手伝い(餅つきのサポートなど)
- (3) 村祭りのお手伝い(10月)神輿や獅子舞のお手伝いや記録撮影など

(4) 受入主体

(5) 受入期間

里山ねっと・あやべ	2016年9月～10月
-----------	-------------

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担 体験料：自己負担 大学ゼミの予算や企業の研修予算など団体予算での参加歓迎
<b>要件</b>	都市農村交流や里山再生、田舎での持続可能な暮らしに関心のある5名以上のグループ(大学生・大学院生、大学教官、ゼミ旅行、企業のCSR担当部署、里地里山や廃校活用に関心のあるNPO団体など)
<b>応募締切り</b>	2016年7月末
<b>宿泊施設</b>	綾部市里山交流研修センター
<b>食事形態</b>	自炊もしくは調理提供いずれも可能
<b>その他</b>	最小催行人員5名 上限30名 グループ(ゼミや団体)での参加を優先

(7) 地域担当者から一言

この企画を通じて里山の価値を全身で実感し、地域住民と親しむとともに、綾部という土地の魅力に触れて、綾部の地域再生を担うサポーターになってください!

(8) お問い合わせ先

自治体名 綾部市	担当部署 定住交流部観光交流課
(ふりがな) おかさか けいこ	TEL: 0773-42-4273
担当者氏名 岡坂 敬子	FAX: 0773-42-4406
E-mail: contact@satoyama.or.jp	
URL: http://ayabesatoyama.net	
応募宛先 〒623-0235 京都府綾部市鍛冶屋町茅倉9 綾部市里山交流研修センター 里山ねっと・あやべ 電話: 0773-47-0040 FAX: 0773-47-0084	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 50 : <sup>ひめじし</sup>兵庫県姫路市 (人口: 532,993人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

神姫バス	61系統 (姫路駅発 北条行き) 西山田停留所下車、徒歩約 20分
"	62系統 (姫路駅発 大貫経由 北条行き) 多田停留所下車、徒歩約 15分

(2) 事業実施の目的等

当市の農業に関心のある若者や就農希望者に対する農業体験実習を行い、当市の農業の情報発信を行うとともに、農業の新たな担い手の育成を図る。

(3) 体験の内容

- ・草花や野菜の植付け、収穫作業
- ・果樹や樹木の収穫、剪定、袋かけ作業
- ・ほ場の除草作業
- ・農業研修の補助 など

(4) 受入主体

姫路市農業振興センター (姫路市)

(5) 受入期間

7 ~ 9月  
 (受入期間は、1回につき1 ~ 2週間程度)

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
<b>要 件</b>	当市周辺に在住若しくは、実家があり、期間中、当センターへ自力で通える方
<b>応募締切り</b>	7月上旬
<b>宿泊施設</b>	宿泊施設はありません。
<b>食事形態</b>	各自で対応願います。
<b>そ の 他</b>	農業体験実習の期間中、各自で傷害保険に加入していただきます。

(7) 地域担当者から一言

農業体験実習を通じて、農業に関心を持ってもらい、一人でも多くの若い方が農業の担い手として活躍してもらえることを期待します。

(8) お問い合わせ先

自治体名	姫路市	担当部署	産業局 農林水産部 農業振興センター 緑化担当
(ふりがな)	もりぐち ひろし	TEL:	079-263-2220 (直通)
担当者氏名	森口 博史	FAX:	079-263-2708
E-mail : engei@city.himeji.hyogo.jp			
URL : <a href="http://www.city.himeji.lg.jp/s60/2632220.html">http://www.city.himeji.lg.jp/s60/2632220.html</a>			
応募宛先	〒679-2111 姫路市山田町多田1174-47		



**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 5 1 : 奈良県<sup>しもいちちょう</sup>下市町 (人口: 5,958人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄吉野線 下市口駅下車 奈良交通バス利用

(2) 事業実施の目的等

日本の原点と言われる吉野郡で、古き良き日本の歴史に興味を持ってほしい。  
農林業を通して大自然の中で、心の豊かさとは何かを感じてほしい。  
下市町にある、「よしの農林業週末塾」にて、学んで頂きます。

(3) 体験の内容

農林業学校の開校：農業・林業についての座学と実技の講習を週末に実施。(原則日帰り)  
農業体験・林業体験・山歩き(時期による)  
地域イベント(盆踊り等の夏祭りや、夏の物産展)への参加

(4) 受入主体

下市町役場 地域づくり推進課

(5) 受入期間

7月~9月 月二回(週末)

(6) 応募上の注意

費用負担	受講費：7,200円 現地までの交通費：実費(駅からの送迎有) 食事代・宿泊代：実費(宿泊費用7,100円~)
要件	20歳以上の大学生及び大学院生で、田舎・農林業に興味がある又は田舎の暮らしを体験してみたい人。
応募締切り	適時対応 参加申込書に必要事項を記入の上、地域づくり推進課まで郵送、FAX、メールをお願いします。
宿泊施設	やすらぎ村 キャンプ場
食事形態	昼食持参(日帰り) 全食事は自炊(宿泊)
その他	作業ができる服、靴、帽子、手袋、雨具をご用意下さい。

(7) 地域担当者から一言

若い人の感性で、下市町の大自然を楽しんで下さい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 下市町役場	担当部署 地域づくり推進課
(ふりがな) あきや なみ	TEL: 0747-52-0001
担当者氏名 秋谷 奈美	FAX: 0747-54-5055
E-mail: kikaku@town.shimoichi.nara.jp	
URL: <a href="http://www.town.shimoichi.nara.jp/index.html">http://www.town.shimoichi.nara.jp/index.html</a>	
応募宛先 〒638-8510 奈良県吉野郡下市町大字下市1960番地 地域づくり推進課	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 5 2 : 奈良県<sup>かわかみむら</sup>川上村 (人口：1344人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄電車吉野線 大和上市駅下車 やまぶきバス、(又はスマイスバス、ゆうゆうバス)  
「湯盛温泉杉の湯」行 川上村役場前下車  
所要時間：大和上市駅よりバスで約30分

(2) 事業実施の目的

都市部の若者に体験機会を提供し、川上村の取り組みについて提案・提言をしてもらい村づくりに活かしていきたい。終了後も川上村の応援団として村づくりに関わってもらいたい。

(3) 体験の内容

吉野林業について  
地域のイベントへの参加、手伝い(盆踊り等)  
臨時スタッフ(自然体験型イベントの準備・実施)  
地域住民、役場職員、林業家、芸術家等との交流等  
体験内容はできる限り参加者の意向に沿って組み立てます。

(4) 受入主体

(5) 受入期間

川上村	8月初旬～中旬 14日間
-----	-----------------

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 費用相当分の補助あり。
<b>要件</b>	地域づくりに興味のある方
<b>応募締切</b>	平成28年6月26日(金)(定員を超えた場合は審査を行います) 指定の参加申込書及び小論文(HP参照)を下記応募先まで郵送して下さい。
<b>宿泊施設</b>	村宿泊施設(共同生活)
<b>食事形態</b>	自己負担(自炊、弁当など)
<b>その他</b>	川上村地域づくりインターンホームページをご覧ください。 詳細は担当者にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

川上村は奈良県の南東部に位置し、吉野川・紀の川の源流にあたる水源地の村です。  
過疎地域における行政の取り組みや地域づくり、林業や環境教育などに興味がある方は  
ぜひご参加ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	川上村	担当部署	水源地課
(ふりがな)	よしだ しほ	TEL	0746-52-0111 (内線)21
担当者氏名	吉田 志帆	FAX	0746-52-0345
E-mail	suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp		
URL	川上村地域づくりインターンホームページ <a href="http://www.vill.kawakami.nara.jp/intern/">http://www.vill.kawakami.nara.jp/intern/</a> 川上村ホームページ <a href="http://www.vill.kawakami.nara.jp/">http://www.vill.kawakami.nara.jp/</a>		
応募宛先	〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335-7 川上村役場水源地課		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 53 : 奈良県東吉野村<sup>ひがしよしのむら</sup>(人口: 1,961人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄大阪榛原駅下車 奈良交通バス 東吉野村役場

(2) 事業実施の目的等

間伐材の有効活用を目的に、山の健全化や環境保全について都会からの参加者と共に考え、交流人口の増加を図る。

(3) 体験の内容

炭焼き学習会  
炭材詰め  
炭出し

(4) 受入主体

東吉野村山の学校協議会

(5) 受入期間

12月10日(土) ~ 12月10日(土) 予定  
1日間

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費： 近鉄八木駅から送迎バスあり。 宿泊費：無し 食事代：参加費3,000円(昼食、温泉入湯券付き)
要件	東吉野村に興味をもち、炭焼き体験をしたい方
応募締切り	11月1日(月)から11月18日(金) 予定
宿泊施設	
食事形態	ふるさと村食堂で昼食
その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

自然豊かな東吉野村で、炭焼き体験をしてみませんか？炭焼き作業のあとは、東吉野村の温泉につかり、疲れを取ってください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 東吉野村	担当部署 総務企画課
(ふりがな) ますもと けんじ	TEL: 0764-42-0441 (内線 207)
担当者氏名 榎本 賢二	FAX: 0746-42-0446
E-mail: soumukikaku@vill.higashiyoshino.lg.jp	
URL: http://www.vill.higashiyoshino.nara.jp	
応募宛先 〒 633 - 2492 奈良県吉野郡東吉野村大字小川 99 番地 0746-42-0441	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 54 : 和歌山<sup>たなべし</sup>県田辺市 (人口: 77,423人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR紀伊田辺駅下車 徒歩10分

(2) 事業実施の目的等

将来、漁業の担い手として当市への定着・就業を考えている方を対象に、漁業を体験してもらう中で当市の魅力を感じてもらうこと。

(3) 体験の内容

面談(受け入れ漁協・講師)  
漁業乗船(漁の準備から後片付けまで研修)

(4) 受入主体

田辺市水産振興会

(5) 受入期間

4月 1日 ~ 2月末日まで

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
要件	15歳以上50歳未満の方(未成年の場合は保護者の同意が必要) 真剣に漁業に就業したいと考え、専業での漁業就業を目指す方
応募締切り	随時(最終締切り：平成29年2月末日) 指定の申込書及び市販の履歴書(写真添付)を事務局まで送付してください
宿泊施設	-
食事形態	各自ご用意ください
その他	着替え、タオル、カップ、長靴、軍手、弁当、飲み物など準備してください

(7) 地域担当者から一言

漁業を通して、地域に定着しようとする方にきっかけを提供します

(8) お問い合わせ先

自治体名 田辺市	担当部署 産業部水産課水産係
(ふりがな) なかしば	TEL: 0739-26-9932(直通)
担当者氏名 中 芝	FAX: 0739-22-9898
E-mail: <a href="mailto:suisan@city.tanabe.lg.jp">suisan@city.tanabe.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://www.city.tanabe.lg.jp">http://www.city.tanabe.lg.jp</a>	
応募宛先 〒646-8545 和歌山県田辺市新屋敷町1番地 田辺市役所水産課(田辺市水産振興会事務局)	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 55 : 和歌山<sup>たなべし</sup>県田辺市 (人口: 77,423人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JRきのくに線 紀伊田辺駅下車 龍神バス(龍神線・西原線)上秋津バス停下車 徒歩5分

(2) 事業実施の目的等

田辺市では受入れ主体である秋津野ガルテンに委託し、地域の農家への研修などを行うワーキングホリデーを実施しています。

この農作業体験により田辺地域の農業に魅力を感じた青年が農地を取得したり借入を行って定着・就農し、田辺地域の農業者数が増加してくれることを期待しています。

(3) 体験の内容

梅・みかんの農作業  
梅・みかんの加工体験。

(4) 受入主体

秋津野ガルテン(上秋津地区)

(5) 受入期間

平成28年6月、8月、9月、1月中  
2~3日間予定

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 要相談 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
要件	学生及び企業等
応募締切り	平成28年度 6月、8月、9月、1月、受入計画あり
宿泊施設	農家民泊及び秋津野ガルテン宿泊施設
食事形態	農家民泊・秋津野ガルテン、双方共に要相談
その他	汚れても良い服装用意(長袖長ズボン、長靴等動きやすい靴)、帽子、水筒、雨具など。

(7) 地域担当者から一言

上秋津は、古くから農業の盛んな地域で、農業の形態は、周年収穫体制が整っており、一年中みかん類が収穫出来ます。また、紀州南高梅の産地でもあり、6月は早朝より南高梅の収穫を行います。上秋津の農業の形態を活かし、周年、農業体験学習の受入を始めたいと考えています

(8) お問い合わせ先

直接受入れ主体へお問合せください 受入れ主体名: 秋津野ガルテン	
(ふりがな) ふるくぼ・なかもと 担当者氏名 古久保・中本	TEL: 0739-35-1199 FAX: 0739-35-1192
E-mail: info@agarten.jp	
URL: http://agarten.jp	
応募宛先 〒646-0001 和歌山県田辺市上秋津 4558-8	
田辺市担当部署: 産業部農業振興課 農政係 担当: 尾崎 TEL: 0739-26-9930(直通)	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 56 : 和歌山<sup>きみのちょう</sup>県紀美野町 (人口: 9,803人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR きのくに線海南駅から大十オレンジバス終点登山口下車、コミュニティバスで紀美野町国吉診療所前へ 海南駅から登山口まで約 30 分 登山口から国吉診療所前まで 26 分

(2) 事業実施の目的等

過疎化・高齢化が進む紀美野町が元気になるように  
里山体験・交流施設「セミナーハウス未来塾」が活気づくように  
一緒に汗をかきながらアイデアを注入してくれる皆さんを募集します。

(3) 体験の内容

セミナーハウス未来塾の仕事全般 セミナーハウス未来塾周辺の町有林の保全  
自然体験、野外活動などの企画、サービス提供 レクリエーションプログラムの企画、提供  
農村、里山の情報発信 エリアツーリズムインフォメーションの整備 など

(4) 受入主体

紀美野町セミナーハウス未来塾  
(<http://www.kimino.jp/miraijuku/>)

(5) 受入期間

7月15日(金)～ 8月31(水)の間の2週間  
程度

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：食事形態欄を参照
要件	仲間と話し合っ <sup>て</sup> アイデアを出し一緒に行動できる人 健康で自然が好きな人 (できれば運転免許を持っている人)
応募締切り	滞在開始希望日の3週間前まで 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、受入団体まで郵送して下さい。
宿泊施設	紀美野町セミナーハウス未来塾
食事形態	滞在期間中はまかない料理を提供 (提供できない場合は当館規定金額を支払います。自炊可。)
その他	2週間(最低でも10日)以上の滞在者を希望します。

(7) 地域担当者から一言

大自然の山里で心を込めた精一杯の接客体験と  
自らのアイデアで過疎化の地域を活性化する体験が得られますよ！

(8) お問い合わせ先

自治体名	紀美野町	担当部署	紀美野町セミナーハウス未来塾
(ふりがな)	ひらいつぐじ	TEL:	073-498-0521(直通)
担当者氏名	平井二嗣	FAX:	073-498-0531
E-mail:	miraijyuku@kimino.jp		
URL:	<a href="http://www.kimino.jp/miraijyuku/index.html">http://www.kimino.jp/miraijyuku/index.html</a>		
応募宛先	〒640-1363 和歌山県海草郡紀美野町田25番地 紀美野町セミナーハウス未来塾(平井宛)		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 57 : 和歌山県<sup>ひろがわちょう</sup>広川町 (人口: 7,423人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JRきのくに線 湯浅駅下車 御坊南海バス 落合バス停下車 徒歩5分  
阪和自動車道 広川IC下りて約5分

(2) 事業実施の目的等

広川町をより多くの人に知っていただきたい。一緒になって活動することによりさらに地域を知っていただきたい。なおかつ学生のフレッシュな意見を聞き入れ、取り入れたい。

(3) 体験の内容

- ・花畑の手入れ
- ・自然公園の整備
- ・イベント等の企画、お手伝い
- ・農作業(薬草栽培)等のお手伝い

(4) 受入主体

広川町  
(津木地区寄合会、広川を愛する会)

(5) 受入期間

7月 ~ 10月  
3~5日程度

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
要件	人・自然・田舎が好きな大学生・大学院生(できれば運転免許を持っている人)
応募締切り	滞在希望日の1ヶ月前まで
宿泊施設	青少年の家、農家民泊
食事形態	自己負担(基本的に自炊)
その他	宿泊費用は青少年の家(一泊200円)、農家民泊(一泊3,000円)程度

(7) 地域担当者から一言

広川町では若く活力あふれる学生のアイデアや力を待っています。地域の人と共に汗を流し一緒に地域づくりをしませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名	広川町	担当部署	総務政策課地域強靱化対策班
(ふりがな)	なかやまゆう	TEL: 0737-23-7731	(直通)
担当者氏名	中山 友	FAX: 0737-62-2407	
E-mail	kikaku4@town.hirogawa.wakayama.jp		
URL	http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/		
応募宛先	〒643-0071 和歌山県有田郡広川町広1500		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ひだかがわちょう  
- 58 : 和歌山県日高川町 (人口: 10,279人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・ JR新大阪駅から特急電車でJR御坊駅まで約1時間40分。  
御坊駅から車で約30分。(路線バスで佐井バス停まで約50分。)
- ・ 大阪から近畿自動車道や阪和自動車道で川辺ICへ。川辺ICから約30分。

(2) 事業実施の目的等

- ・ 若い人に田舎暮らしを体験していただき、田舎の良さ・課題・可能性を感じていただく。
- ・ 新しい視点や提案により地域の活性化を図る。
- ・ これから進路を考える皆さん自身に、新しい視点や選択肢を見つけるきっかけを提供する。

(3) 体験の内容

- ・ 田舎での生活体験
- ・ 農作業体験

参加者の希望や時期に応じて、体験内容は変わります。  
ありのままの田舎暮らしを体験してください。

(4) 受入主体

日高川町役場 企画政策課 定住促進室

(5) 受入期間

通年(1泊2日から1週間程度)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：全額補助 食事代：自己負担
要件	大学生及び大学院生で、田舎や人とのふれあいが好きな方。田舎暮らしに興味がある方。(受入人数に制限があり、希望に添えない場合があります。)
応募締切り	おおむね滞在希望日の1ヶ月前までをお願いします。
宿泊施設	田舎暮らし短期滞在施設「風呂谷ビレッジ」
食事形態	自炊
その他	作業ができる服装をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

日高川町は都会からの移住者が多い町です。これまで本町へ移住してきた人たちは、それまでと全く異なる環境で自分らしい人生を見つけて暮らしています。そんな人たちや地域の人たちと関わりながら、様々なことを学び感じ取っていただければ幸いです。

(8) お問い合わせ先

自治体名	日高川町役場	担当部署	企画政策課 定住促進室
(ふりがな)	のうがわ ひろこ	TEL	: 0738-22-2041 (直通)
担当者氏名	直川 裕子	FAX	: 0738-22-1767
E-mail	: yumeclub@town.hidakagawa.lg.jp		
URL	: http://yumeclub21.hidakagawa.jp/		
応募宛先	〒649-1324 和歌山県日高郡日高川町大字土生 160 番地		



**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 59 : 鳥取県鳥取市<sup>とっとりし</sup> (人口: 191,969人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陰線鳥取駅下車 日の丸バス雨滝行き国府町麻生バス停下車

(2) 事業実施の目的等

鳥取市に定住し地域農業の担い手として新規就農を目指す人材の育成

(3) 体験の内容

受け入れ施設が管理運営する農場(水稲・野菜・果樹)での農業実体験

(4) 受入主体

(一財)鳥取市農業公社国府支所 とっとりふるさと就農舎

(5) 受入期間

随時(体験期間 1日から1週間程度)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 全額自己負担 宿泊費・食事代: 1日あたり1,000円負担(但し公社直営の宿泊施設を利用する場合に限る)
要件	(2)の目的を持ち事前に体験を希望する者
応募締切り	随時
宿泊施設	公社直営の宿泊施設(個室)有り
食事形態	原則自炊(他の研修生との共同)
その他	作業のできる服装をご用意ください

(7) 地域担当者から一言

農業に興味があるけれどやったことがない、農業に触れてみたい方、就農舎で学んでみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 鳥取市	担当部署 農林水産部 農業振興課 生産流通振興室 担い手支援係
(ふりがな) なかむら ともみ 担当者氏名 中村 智実	TEL: 0857-20-3238(直通) FAX: 0857-20-3047
E-mail: seisan@city.tottori.lg.jp	
URL: http://www.city.tottori.lg.jp	
応募宛先 〒680-8571 鳥取市尚徳町116番地	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 60 : 岡山県<sup>みまさかし</sup>美作市 (人口: 29,213人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

智頭急行 大原駅下車 神姫バス 後山バス停

(2) 事業実施の目的等

田舎で暮らす価値観を提供する。  
里山の知恵を学ぶ。

(3) 体験の内容

里山の日常体験 (地域散策、自然観察、地域住民との交流など)  
農業体験 (足踏み脱穀機などを使った雑穀の栽培&脱穀)

(4) 受入主体

里山デイズ

(5) 受入期間

通 年

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担 (自炊可)
要 件	特になし
応募締切り	随時
宿泊施設	農家民宿福屋
食事形態	各食提供可 (自炊も可)
そ の 他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

単に農業体験やイベントに参加するだけでなく、飾らない里山の日常を感じることをコンセプトに活動しています。日常の中にある田舎の本当の魅力を感じていただければと思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名	岡山県 美作市	担当部署	企画振興部企画情報課総合企画係 (グループ)
(ふりがな)	(とうない なお)	TEL : 0868-72-6631	(直通)
担当者氏名	唐内 奈遠	FAX : 0868-72-6367	
E-mail	: info@satoyama.link		
URL	: http://satoyama.link		
応募宛先	〒707-0401 岡山県美作市後山1431-1 (こぶし庵)		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 6 1 : <sup>いわくにし みわまち</sup> 山口県岩国市(美和町)(人口: 139,814人(4,147人))

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

飛行機: 岩国錦帯橋空港 - 車で約 45 分  
電車等: 新岩国駅下車 - 車で約 20 分、岩国駅下車 - 車で約 40 分

(2) 事業実施の目的等

若者の受入れ地域住民との交流等を通じて、外部の若者から見た地域評価を参考にすることにより地域活性化を図るとともに、弥栄湖周辺地域の特色を活かした体験交流プログラムやイベントの開発を行なうことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・地域行事への参加、やさかの手伝い、がね栗収拾等農作業体験等
- ・弥栄湖周辺の調査及び観光資源の再発掘
- ・体験交流プログラムやイベントの提案・提言

(4) 受入主体

弥栄湖を育む会

(5) 受入期間

9月初旬～10月下旬の7日間程度

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 自炊
要件	地域づくりや観光振興に興味があり、地域の住民と積極的に交流ができる元気な方(グループでの参加も歓迎) 5名～8名程度
応募締切り	7月末もしくは定員になり次第
宿泊施設	長谷交流館を予定
食事形態	長谷交流館での自炊を予定
その他	体験・作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

山口県最東部、標高150mに広がる町です。南の旧岩国市には日本三名橋の錦帯橋もあり、弥栄ダム(弥栄湖)、生見川ダム(山代湖)、小瀬川ダム(真珠湖)のダム湖や溪谷等の自然資源に恵まれています。若者らしく個性的なアイデアを提案・提言してください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	岩国市(美和総合支所)	担当部署	地域振興課地域振興班
(ふりがな)	(なかた)・(しのだ)	TEL: 0827-96-1111	直通
担当者氏名	中田・篠田	FAX: 0827-96-0415	
E-mail	m.nakata.hs115@city.iwakuni.lg.jp t.shinoda.ws410@city.iwakuni.lg.jp		
URL	http://www.city.iwakuni.lg.jp/		
応募宛先	〒740-1231 山口県岩国市美和町生見2 12 6 番地		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 62 : 山口県<sup>ながとし</sup>長門市 (人口: 36,130人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R山陽新幹線 新山口駅又は厚狭駅下車	J R美祢線 長門湯本駅下車
サンデンバス 長門湯本駅 - 俵山公民館前	20分

(2) 事業実施の目的等

都市部で暮らす若者を受入れ、地域住民との交流を通じて、若者から見た地域評価をいただくことにより、地域活性化を図るとともに、地域の特色を活かした体験交流プログラムの開発を行うことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・ 農作業体験や集落点検調査の実施
- ・ 公民館活動への参加 (地域住民との交流、スポーツ活動、地域の祭り等)
- ・ 日帰り入浴施設、旅館等での接客体験
- ・ 地域づくりの広報宣伝活動に参加 (情報誌、ホームページ、フェイスブック等) 等

(4) 受入主体

NPO法人 ゆうゆうグリーン俵山

(5) 受入期間

8月 上旬 ~ 8月 下旬  
 14日間程度 (詳細は参加学生と調整)

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 受入費用：3万円 (宿泊費・食事代・保険代・作業費込み)
<b>要件</b>	都市と農村の交流 (グリーンツーリズム) に興味のある方
<b>応募締切り</b>	平成28年 7月 1日 (金) 必着
<b>宿泊施設</b>	温泉旅館とホームステイの併用
<b>食事形態</b>	原則として、宿泊先で用意します。(費用負担は受入費用に含む)
<b>その他</b>	

(7) 地域担当者から一言

受入主体となる NPO 法人は、地域住民と協力して、地域の活性化に取り組んでいます。あなたも、俵山地域の人と交流し、体験を通して地域の事を知り、あなたの若い発想力で、この地域が活性化するための提案をしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 山口県 長門市	担当部署 企画総務部 企画政策課課 企画調整係
(ふりがな) 担当者氏名 むらなか やすゆき 村 中 康 之	TEL : 0 8 3 7 - 2 3 - 1 2 2 9 (直通) FAX : 0 8 3 7 - 2 2 - 0 1 3 5
E-mail : chosei@city.nagato.lg.jp	
URL : <a href="http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/">http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/</a> <a href="http://tawarayama.jp/">http://tawarayama.jp/</a>	
応募宛先 〒759-4192 山口県長門市東深川 1339 番地 2	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

すおうおおしまちょう  
- 63 : 山口県周防大島町 (人口: 17,649人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陽本線大島駅よりバス(大島庁舎前下車)で約15分  
山陽自動車道 玖珂ICより車で約30分

(2) 事業実施の目的等

男性移住者と比べ、育児や地域の付き合いなどでストレスを溜めやすいと思われる女性移住者に対して、回答しやすい同性が意識調査を行うことによりサポート体制の構築や、定住促進の充実に図ることが目的です。

(3) 体験の内容

移住前と後で家計にどのような変化があったのか。田舎暮らしを始めてよかった点、苦労している点などのヒアリング調査を行っていただきます。

(4) 受入主体

周防大島町定住促進協議会

(5) 受入期間

7月上旬～8月下旬のうち3～4週間程度

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：受け入れ側負担 食事代：自己負担 ヒアリング調査に必要な移動経費は受け入れ側負担
要件	地域づくりに興味のある女性の方(女性移住者へのインタビューのため)
応募締切り	随時
宿泊施設	周防大島町お試暮らし住宅「島暮ら荘」
食事形態	自炊となりますが、近くに飲食店・コンビニエンスストアがあります
その他	2名募集します

(7) 地域担当者から一言

近年、都会ではなく「田園回帰」による地方での暮らしを選ぶ若い方が増えています。なぜ地方を選んだのか、そして実際にくらしてみてもうどうなのか、移住者の声を聞くことで皆さんの今後に活かしてください!

(8) お問い合わせ先

自治体名	山口県周防大島町	担当部署	周防大島町定住促進協議会
(ふりがな)	いずたに にしむら	TEL	: 0820-74-1007 (直通)
担当者氏名	泉 谷 ・ 西 村	FAX	: 0820-74-1015
E-mail	: info@teiju-suo-oshima.com		
URL	: http://teiju-suo-oshima.com/		
応募宛先	〒742-2192 山口県大島郡周防大島町大字小松 126 番地 2		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 64 : 徳島県<sup>みなみちょう</sup>美波町 (人口: 7, 315人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR牟岐線 日和佐駅下車 徒歩15分

(2) 事業実施の目的等

地域づくりや地域活性化の取り組みに関心を持ち、美波町が取り組む種々の施策に参画を希望する若者を迎え入れ、地域での様々な取り組み、各種交流事業等に関わってもらうことで地域や地域住民の刺激とするほか、体験終了後は美波町のサポーターとして町や地域との良い関係を構築してもらうことを期待します。

(3) 体験の内容

- ・地域の漁業、農業体験
- ・地域での滞在及び地域内各種行事等への参加及び交流
- ・うみがめ博物館でのうみがめ飼育の手伝い
- ・地域主導の都市・地域間の交流事業への参加

(4) 受入主体

美波町

(5) 受入期間

7月下旬～8月下旬での1泊15日を予定  
参加学生の方と相談し日程を決定します。

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：美波町負担（最寄りターミナル駅もしくは空港から美波町まで） 宿泊費：美波町負担 食事代：「食事形態」のとおり
<b>要件</b>	・地域づくり、観光振興に興味のある方 ・体験最終日に体験発表会及び、終了後レポートの提出（広報「みなみ」に掲載します。）
<b>応募締切り</b>	平成28年6月15日（当日消印有効） 別添募集参加申込書・小論文記入用紙に記載の上、担当まで郵送。
<b>宿泊施設</b>	ホームステイ、宿泊施設（国民の宿）美波町体験活動施設、各地区交流体験施設を予定
<b>食事形態</b>	原則：朝・昼・夕食は自炊等自己負担 ホームステイ・国民の宿の朝夕食は提供予定（美波町負担）
<b>その他</b>	・申込前に担当までご連絡ください。 ・動きやすく、汚れてもいい服装が必要です。

(7) 地域担当者から一言

NHK 朝の連続テレビ小説『ウェルかめ』の舞台地で、海・山・川の自然豊かな町です。そんな町の新しい地域資源を共に発見しましょう。地域づくり活動も盛んな地域ですので、是非若い方の活力を美波町に！不明な点等があれば事前にご連絡をください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	美波町	担当部署	総務企画課
(ふりがな)	ミナミナヒ	TEL	: 0884-77-3611 (直通)
担当者氏名	西口 英樹	FAX	: 0884-77-1666
E-mail : somu@town.minami.lg.jp			
URL : http://www.town.minami.tokushima.jp			
応募宛先	〒779-2395 徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 65 : 愛媛県<sup>いまばりし</sup>今治市 (人口: 164,769人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR今治駅

(2) 事業実施の目的等

島々固有に育まれた歴史や文化、豊富な地域食材など多くの魅力あふれる「しまなみ地域」で農漁家に滞在し田舎暮らしを体験する中で、普段と違ったコミュニケーションを体験することができます。

(3) 体験の内容

農業体験、漁業体験、民泊体験

(4) 受入主体

しまなみグリーン・ツーリズム推進協議会

(5) 受入期間

7月上旬 ~ 10月上旬  
(1泊2日を基本)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費・宿泊費・食事代：自己負担
要件	団体の場合の受入可能人数は15名まで
応募締切り	随時(受入先が忙しい時には受入できない場合があります。)
宿泊施設	農漁家民宿への民泊
食事形態	農漁家民宿で朝、晩提供
その他	洗面用具、寝間着、汚れてもいい服装を持参ください。

(7) 地域担当者から一言

しまなみ地域は、東洋のエーゲ海とも称される瀬戸内海の島々を堪能できる世界に誇れるロケーションです。この地で農漁業に関わっている人達が農林漁業の技術・生活の技術を活かした新しい発見・楽しい体験を味わうことができます。

(8) お問合せ先

自治体名 今治市	担当部署 農林振興課
(ふりがな) しばた ゆうじ	TEL: 0898-36-1542
担当者氏名 芝田 裕治	FAX: 0898-32-5266
E-mail: nourin@imabari-city.jp	
URL: <a href="http://www.city.imabari.ehime.jp/">http://www.city.imabari.ehime.jp/</a>	
応募宛先 〒794-8511 愛媛県今治市別宮町1丁目4-1	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 66 : <sup>うわじま</sup>愛媛県宇和島市 (人口: 80,422人)

**事業名 宇和島シーズンワーク**

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR伊予吉田駅(いよよしだ)から徒歩5分  
JR宇和島駅からバスで20分

(2) 事業実施の目的等

愛媛県宇和島市はみかんの代表的な産地です。  
農家民泊で田舎暮らしを体験しながら、農家の方とふれあい、みかん農家の体験ができます。  
田舎(地方)に興味のある方、みかん農家に興味のある方、さまざまな交流を求めている方を対象とした事業です。

(3) 体験の内容

みかん農家のお手伝いをさせていただく内容です。  
主に夏は摘果(てきか) 秋は収穫のお手伝いです。  
農家民泊で田舎暮らしを体験できるほか、全国から来る様々な参加者との交流も深まります。

(4) 受入主体

宇和島市役所

(5) 受入期間

(予定)夏:7月海の日前後  
秋:11月第4日曜日前後 3泊4日

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料(民泊による農家負担) 食事代: 無料(民泊による農家負担)
要件	18歳以上69歳以下の健康な方
応募締切り	夏:7月上旬、秋:11月上旬、ただし、定員満了になれば締切
宿泊施設	受入農家で民泊
食事形態	農家民泊で朝、昼、晩提供
その他	作業ができる服装、保険証のコピー、靴(汚れても良いもの)等

(7) 地域担当者から一言

H28年で9年目の事業で、今まで延べ300名ほどの方が来られました。  
宇和海を望むみかん山からの眺めは素晴らしく、秋は獲りたてみかん食べ放題です。  
参加者の2割程度は20代以下で若年層の参加者も多くいらっしゃいます。  
市のホームページで詳しい内容をご紹介します。

(8) お問い合わせ先

自治体名	宇和島市	担当部署	産業経済部商工観光課観光係
(ふりがな)	かたおか ひろし	TEL	: 0895-24-1111 内線 2752
担当者氏名	片岡 紘志	FAX	: 0895-25-4907
E-mail : kataoka-hiroshi@city.uwajima.lg.jp			
URL : http://www.city.uwajima.ehime.jp/kisaiya/usw/usw.html			
応募宛先	〒798-8601		
愛媛県宇和島市曙町1番地 宇和島市役所 商工観光課 担当 片岡 宛			



# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 67 : <sup>つしまし</sup>長崎県対馬市 (人口: 32,519人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

・博多港からフェリーで4時間30分(厳原航路) 5時間40分(比田勝航路)  
博多港からジェットfoilで2時間15分(厳原港) 韓国・プサンからの国際航路あり  
・福岡空港あるいは長崎空港から飛行機で約35分

## (2) 事業実施の目的等

「学びの力を地域に、地域の力を学びに」。地域おこしへの理解促進と地域おこしの担い手育成を行うとともに、参加者との交流・実践作業を通じて地域を元気にするため、学生のみなさんのフィールドワーク(実習や調査研究等)を積極的に受け入れています。

## (3) 体験の内容(主に3つのプログラムをご用意)

ア)「対馬市島おこし実践塾」: 全国各地の学生、地元高校生が集い学び合う実践形式の短期合宿です(8月下旬の5泊6日)。地域の現状を知りたい、地域おこしのあり方等を学びたい。地域に飛び込むきっかけ・入門編としてオススメです。  
イ)現場学「学生実習」: 数週間~数ヶ月間、現地に滞在し、具体的な地域実践活動(教育や行政、環境・産業(起業)・建築等)を通じて、現場で求められる考え方・スキル等を身に付けます。  
ウ)「フィールド研究」: 対馬をフィールドに調査研究に取り組む学生をサポート。協力者や情報提供のみならず、調査研究に要する経費補助制度もあります(公募審査制)。

## (4) 受入主体

対馬市

## (5) 受入期間

平成28年7月~平成29年3月頃  
(プログラムにより受入期間や滞在日数は異なります)

## (6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費: 自己負担(島内送迎は受入側対応) 宿泊費: 受入側負担(予定) 食事・保険等: 自己負担 講師代・指導料等は主催者負担
要件	大学・専攻・学年など不問。地域の方々と積極的にコミュニケーションを取りながら現場で学びたい学生を歓迎します
応募締切り	平成28年4月~7月中旬に募集予定
宿泊施設	ア)民家へのホームステイ、イ)民家へのホームステイもしくは空き家滞在、ウ)各自で手配
食事形態	ア)地区の方々による炊き出し等、イ)自炊、ウ)自炊等
その他	平成28年度の募集の詳細は4~7月中旬に「対馬市域学連携ポータルサイト」に掲載します。福岡・東京・京都での募集説明会(5月頃)も予定しています。

## (7) 地域担当者から一言

みなさんはなぜ地域に関心があり、何のために地域おこしをしたいのでしょうか。地域とは何か、ふるさととは何か。地域おこしを行う上で何が大切なのか、何を守るべきなのか。それは地域の方々と交流しながら、見て聞いて体験してみないと分かりません。現代社会は、人として大切なことを見落としがちです。人が温かく人情あふれる対馬は、その大切なことを気付かせてくれます。地域おこしの根本・あり方を学びたい学生のみなさん、お待ちしております。

## (8) お問い合わせ先

自治体名	対馬市	担当部署	しまづくり戦略本部 新政策推進課
(ふりがな)	まえだつよし	TEL: 0920-53-6111(代表) 内線: 457	
担当者氏名	域学連携担当 前田 剛	FAX: 0920-53-6112(代表)	
E-mail	t-maeda@city-tsushima.jp		
URL	域学連携ポータルサイト <a href="http://fieldcampus.city.tsushima.nagasaki.jp/">http://fieldcampus.city.tsushima.nagasaki.jp/</a>		
応募宛先	〒817-8510 長崎県対馬市厳原町国分1441番地		

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 68 : 長崎県小値賀町 (人口: 2,625人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

【福岡県博多港より】 野母商船「フェリー太古」にて約5時間(23:45発 朝4:40着)  
【長崎県佐世保港より】九州商船「フェリーなるしお」にて約3時間(1日2便)  
九州商船高速船「シークイーン」にて1時間40分(1日2便)

### (2) 事業実施の目的等

約1カ月間にわたり、地域の特色を活かした島暮らし体験や交流プログラムへの参加を通じて、地方の良さを知ってもらいつつ、外部から見たフレッシュな感覚で小値賀町における取り組みに対して提言・評価を行ってまいります。また、小値賀町にとっても、都市の若者の受入や交流を通じて、地域の活性化やUターン促進のきっかけづくり等に役立てるという目的で実施します。

### (3) 体験の内容

- ・農業、漁業、福祉事業などの体験(稲刈り、イサキの夜釣り、老人ホーム職場体験等)
- ・当町の観光拠点でもある「野崎島」にて、キャンプリーダーや自然体験活動等の体験
- ・当町が進めている「古民家再生事業」についての研修
- ・島ならではの文化や民泊の体験、ペーロン大会・夏祭り等のイベントへの参加
- ・島の若者や、各産業関係者との意見交換

### (4) 受入主体

小値賀町

### (5) 受入期間

8月上旬から約1ヶ月間を予定

### (6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料(無料の宿泊施設あり) 食事代：原則自己負担 体験料：無料
要件	島暮らしに興味があり、何事にも積極的に参加し、自論を人前で発表できる方 最終日には小値賀町に対する評価や提言等の報告会を開催します。
応募締切り	7月8日(金)必着 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、下記応募先まで郵送をお願いします。
宿泊施設	セミナーハウス(町宿泊施設) 民泊
食事形態	基本的に自炊(共同調理) 民泊では、民泊家族と朝・夕を一緒に料理
その他	ビーチサンダルが必需品です。

### (7) 地域担当者から一言

小値賀町では、町民の人柄、自然、食事など様々な魅力があります。島ということもあり外部の若者の目線や意見というのは、とても新鮮なものがあります。  
島の暮らしを体験し、その魅力を認識した上で、まちづくりの提案、意見等を楽しみにしています。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	小値賀町	担当部署	総務課企画振興班
(ふりがな)	えがわ こうたろう	TEL	: 0959-56-3111(代表)
担当者氏名	江川 孝太郎	FAX	: 0959-56-4185
E-mail : egawa-koutarou2@ojika.net			
URL : http://www.ojika.net			
応募宛先	〒857-4701	長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷2376番地1 小値賀町役場 総務課企画振興班 宛	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 69 : <sup>うきし</sup> 熊本県宇城市 (人口: 約61,000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR鹿児島線 熊本駅 又は 熊本空港から自家用車で約40分～50分  
 最寄りのJR鹿児島線 松橋駅から徒歩20分、タクシーで約5分

(2) 事業実施の目的等

若い世代に“市民手づくり”のイベントを体験できる機会を提供する事で、「行政頼りではなく、地域の課題は自分たちで解決する」という意識の醸成や人の繋がりを作り、地域の中にどんどん入って行き、活動する楽しさを学んで欲しいため。  
 また、情報発信やイベントを盛り上げる手段と一緒に語り合う事で、自分たちのイベント自体も、更に発展していきたいと考えたため。

(3) 体験の内容

- ・会場に展示する「竹灯ろう」製作体験(竹加工・装飾)
- ・イベントスタッフ参加(高校生製作のステージや子どもたち製作の灯籠の設置、運搬、片づけ)
- ・次回開催時のアイデアと一緒に企画・立案(次年度にアイデアを活かした取組を実施予定)
- ・情報発信についてのワークショップ開催

(4) 受入主体

(5) 受入期間

うきあかり実行委員会

10月～11月にかけての土日(1泊2日～2泊3日程度)

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料(民泊) 各家に分泊となる場合もあります。 食事代：無料
<b>要件</b>	住民と一緒にイベントを楽しめる人。「こんなことをすれば面白いのに」、「こんなこと出来れば良いなあ」という思いを持っている人。
<b>応募締切り</b>	10月中旬頃までに連絡
<b>宿泊施設</b>	宇城市内のうきあかり実行委員会メンバー宅での民泊
<b>食事形態</b>	民泊先で、家族と一緒に自炊。朝食は自炊又はお弁当。
<b>その他</b>	市民手づくりイベント「うきあかり」を一緒に盛り上げる人をお待ちしています。

(7) 地域担当者から一言

「うきあかり」は、本市の各地域づくり団体や保育園等の教育機関、地元高校生ボランティアを中心に「市民手づくり」で開催しているイベントで、今年で9回目を迎えます。5町合併で誕生した宇城市の旧町の壁を無くそうと、地元住民有志で始まった本イベントは、着実に本市の秋イベントとして定着して来ています。数千点の手作り灯ろう展示だけでなく、住民自身が出演者となるステージイベントや学生主体のファッションショー、飲食関係の出店もあり、大変な賑わいを見せています。地元住民が自ら作る地域活性化・一体化の為の取組をぜひ一緒に体験して下さい！一つの団体だけでなく、各種団体が集まった本イベントだからこそ、学べる物が多々あると思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市	担当部署 企画部地域振興課地域振興係
(ふりがな) ささやま ひろと	TEL: 0964-32-1906(直通)
担当者氏名 笹山 裕斗	FAX: 0964-32-2222
E-mail: sasayama-hiroto@city.uki.lg.jp	
URL: <a href="http://www.city.uki.kumamoto.jp/">http://www.city.uki.kumamoto.jp/</a> (宇城市役所) <a href="https://ja-jp.facebook.com/Ukiakari">https://ja-jp.facebook.com/Ukiakari</a> (うきあかり)	
応募宛先 〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 地域振興課	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 70 : <sup>うきしとよのまち</sup> 熊本県宇城市豊野町 (宇城市:約61,000人 町:約4,700人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

受入主体の豊野町：  
 JR鹿兒島線 熊本駅 又は 熊本空港から自家用車で約40分～50分  
 最寄りのJR鹿兒島線 松橋駅(熊本駅～松橋駅：約15分)からタクシーで約15分

### (2) 事業実施の目的等

1. 若者に生活の場として地方を認識する機会を用意する。
2. 地域と若者の双方がそれぞれの目的に応じたそれぞれの成果を獲得する。
3. 事業への参加を契機とした今後の地域の活性化を図っていく。

### (3) 体験の内容

- ・移住者と地元住民や子どもたちとの交流イベントへのスタッフ参加  
 (タケノコ掘り体験、ソーメン流し・竹箸作り体験、餅つき・ミニ門松作り体験)  
 子どもたちと一緒に、竹切りから、小刀を持っての加工も行います。
- ・既存移住者や受入側の地元住民双方からの移住談義
- ・移住者の経験や「外からの目」を活かした地域活性化のためのワークショップ参加

### (4) 受入主体

### (5) 受入期間

地域づくり団体「うきのわ」	3月下旬～4月上旬：タケノコ掘り(1泊2日) 7月下旬～8月上旬：ソーメン流し、竹箸作り(1泊2日) 12月下旬：餅つき体験、ミニ門松作り体験(1泊2日)
---------------	---

### (6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：原則無料(布団レンタル代金が必要となる場合があります。) 食事代：自己負担(料理体験等の費用。)
要件	地域住民・移住者・子どもたちと一緒に元気に活動し、語り合える人
応募締切り	平成28年7月中旬 平成28年12月中旬 平成29年3月中旬 (特に締切は設けませんが、開催日を確定するため2週間程度前には要連絡)
宿泊施設	熊本県宇城市豊野町 「光照寺」(寺泊になります)
食事形態	地元住民と一緒に、地域の伝統料理等を体験し、自炊
その他	

### (7) 地域担当者から一言

「うきのわ(宇城の“輪”)」は、震災後移住者して来た人を支援したいと、地元住民が中心となり平成25年2月に発足した団体です。移住者の今までの生活や移住経緯が、田舎住民には理解できず、移住者同士で孤立するケースもあり得るため、「うきのわ」は地域住民と移住者の交流を通じ、第2の故郷として地元で根付いてもらう活動を続けて来ました。毎年、子どもたちと地元の名産「竹」をテーマにした取組を年間通じて実施し、最近では県内の大学生等も呼んで交流イベントを一緒に行っています。地域住民が主体となった移住・交流に向けた取組を、ぜひ体験してください。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	宇城市	担当部署	企画部地域振興課地域振興係
(ふりがな)	ささやま ひろと	TEL	: 0964-32-1906 (直通)
担当者氏名	笹山 裕斗	FAX	: 0964-32-2222
E-mail	: sasayama-hiroto@city.uki.lg.jp		
URL	: <a href="http://www.city.uki.kumamoto.jp/">http://www.city.uki.kumamoto.jp/</a> (宇城市役所) <a href="http://ukinowa.org/">http://ukinowa.org/</a> <a href="https://www.facebook.com/403718689724495/">https://www.facebook.com/403718689724495/</a> (うきのわ)		
応募宛先	〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 地域振興課		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 71 : 熊本県宇城市うきしおがわまち小川町(宇城市:約 61,000 人 町:13,000 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 鹿児島線 小川駅 (JR 熊本駅 ~ 小川駅 : 20 分) からタクシーで 10 分 or 徒歩で 40 分  
 熊本空港から自家用車で、約 40 分

(2) 事業実施の目的等

- ・高齢化し、寂しくなりつつある商店街に若者の新しい息吹を入れる。  
 若い世代や他所の方のセンスや考え方を、今後の地域づくりに生かし、本事業以後も進展状況等の相談・連絡を取られるような繋がりを作る。
- ・廃屋を改修した古民家「塩屋」がスタッフの高齢化もあり、維持管理が難しくなっているため、若い世代と一緒に、次の世代へ繋げて行く取組を行う。

(3) 体験の内容

- ・築 110 年になる商家 (古民家) の「屋根の修繕」と「庭園造り」体験  
 古民家「塩屋」: 明治 39 年 (1906 年) に建てられた土蔵白壁の商家
- ・塩屋を拠点に活動する地元のお母さんたちとの創作料理作り・伝統料理体験
- ・地元住民や子どもたちとの地域づくり談義

(4) 受入主体

風の館・塩屋

(5) 受入期間

通年 (3 泊 4 日)  
 一度に 5 ~ 10 人

(6) 応募上の注意

<b>費用負担</b>	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 原則無料 (料理体験費用として、1 人 3 泊で 500 円程度負担)
<b>要件</b>	・古民家に興味があり、土いじりや簡単な修繕を楽しめる人 ・地元の元気な“パワフル”お母さんたちや田舎料理に興味がある人 ・3 泊可能な人
<b>応募締切り</b>	随時。(簡単な自己 PR をメールにて送って下さい。)
<b>宿泊施設</b>	風の館・塩屋 (古民家で寝泊まりします)
<b>食事形態</b>	・塩屋内のピザ釜 (地域の子どもたちと製作) で石窯ピザや石窯パン作り体験 ・煮しめなど地元のお母さんたちと地域の伝統料理や創作料理作りを体験 自分で体験し、作った手料理を味わいます。
<b>その他</b>	火鉢など、昔ながらの暖房器具はありますが、冬場は寒いので温かい恰好で。 入浴は、近所の温泉施設利用。

(7) 地域担当者から一言

風の館・塩屋は、平成 10 年に地元小川の女性グループ「風の会」が改修した古民家です。風の会はこの蘇った塩屋を中心に、地域のボランティアや商工会と地域全体の振興を考えたイベントや活動を続けて来ました。現在では、元「よそもの」だった若い移住者が、塩屋に惹かれ、更に塩屋を元気にしようと活動を広げています。「古民家改修」・「地域づくり」・「田舎暮らし」このような言葉に惹かれる方は、ぜひ一度足を運んでみてください。元気で、素敵なお母さんたちが新たな出会いを楽しみに待っています!

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市	担当部署 企画部地域振興課地域振興係
(ふりがな) ささやま ひろと	TEL : 0964-32-1906 (直通)
担当者氏名 笹山 裕斗	FAX : 0964-32-2222
E-mail : sasayama-hiroto@city.uki.lg.jp	
URL : <a href="http://www.city.uki.kumamoto.jp/">http://www.city.uki.kumamoto.jp/</a> (宇城市役所) <a href="http://www.geocities.jp/kazenoyakata_408/index.html">http://www.geocities.jp/kazenoyakata_408/index.html</a> (風の館・塩屋)	
応募宛先 〒869 - 0592 熊本県宇城市松橋町大野 8 5 宇城市役所 企画部 地域振興課	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 72 : 熊本県<sup>いつきむら</sup>五木村 (人口: 1,189人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

人吉駅-公共バス 1時間・自家用車 45分  
新八代駅-自家用車 1時間

(2) 事業実施の目的等

本村のような高等教育機関が存しない地方の山間地において、都市部若者の長期生活体験を通じた意見等を参考に受け入れ、環境の整備、将来のU・Iターン者の育成、移住定住による村の活性化を図り、もって人の流れの新しい創出により人口減少の緩和を図ることを目的とする。民間委託事業者により実施

(3) 体験の内容

村内事業所でのインターンシップ  
期間中の村内行事への参加・補助  
<H27 一例>地域づくり団体主催事業...川辺川の林間学校(そうめん流し、川下り、そば打ち、アユ漁、ドラム缶風呂等)/ヤマメ釣り大会(平瀬渓谷でのヤマメ釣り、ヤマメ塩焼き等)

(4) 受入主体

未定(H27実績:道の駅「子守唄の里五木」  
五木村森林組合)

(5) 受入期間

未定(H27実績:8月17日(月)~9月27日(日)  
42日間)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費:公共バス1,010円 宿泊費:1泊2,000円(温泉代別途400円) 食事代:自炊(村内レストラン相場:1食800円程度)
要件	大学生・大学院生で、性別不問。地域の人との交流ができ、好奇心旺盛な人。
応募締切り	別途設定
宿泊施設	村施設等
食事形態	自炊
その他	事業所によっては作業服、帽子等(随時指示を仰いで下さい)

(7) 地域担当者から一言

H27受入学生の言葉を借りると、「人の温もりで溢れている村」です。  
みなさんのパワーで村が更に元気を出せることを期待しています。

(8) お問い合わせ先

自治体名	五木村	担当部署	ふるさと振興課
(ふりがな)	とよはら かな	TEL:	0966-37-2212(直通)
担当者氏名	豊原 佳奈	FAX:	0966-37-2215
E-mail: komoriuta@vill.itsuki.lg.jp			
URL: http://www.			
応募宛先	〒868-0201 熊本県球磨郡五木村甲2672-7(五木村役場 ふるさと振興課)		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 73 : <sup>おおいたし</sup>大分県大分市 (人口: 479,155 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

[空]東京(羽田)・大阪(伊丹)・名古屋(中部国際) 大分空港。市中心部までエアライナーで 60 分  
[電車]JR 大分駅下車。日豊本線・博多から約 2 時間。豊肥本線・熊本から約 3 時間。久大本線・久留米から約 2 時間 20 分[高速バス]博多バスターミナルから約 2 時間 30 分。[車]大分自動車道大分 IC 下車 市中心部まで約 10 分。

(2) 事業実施の目的等

都市部と農村部との農業を通じた交流活動による地域の活性化や UJI ターンのきっかけづくり。

(3) 体験の内容

受入れ農家における農作業実施。作業内容は農作業全般(シイタケのコマ打ち・収穫、ワラ立て、ワラ運び、野菜の栽培管理、柑橘類の収穫・剪定作業ほか)

(4) 受入主体

大分市(受入れ農家をあっせん)

(5) 受入期間

随時(応相談)

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：自己負担(JR 大分駅から現地まで送迎可能です。) 宿泊費：原則無料 食事代：自炊分は自己負担
要件	18 歳以上、性別問わず。ボランティアとして援農活動が出来る農業や農村に興味のある健康な人
応募締切り	随時受付
宿泊施設	公共宿泊施設(旧中学校施設・4人以上で利用可) 農家民泊等
食事形態	作業時間内の食事及び農家民泊の場合は受入れ農家が提供。公共宿泊施設に宿泊する場合は自炊となります。
その他	時期、農家の作業状況等によっては受入れ出来ない場合があります。

(7) 地域担当者から一言

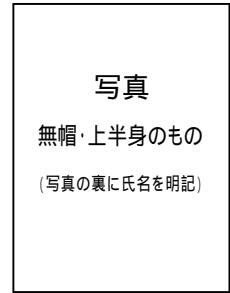
農村地域では過疎化や高齢化の進行による農業の担い手不足や集落機能の低下が問題となっています。都市部の方々にボランティアとして農作業のお手伝いをしていただくことで、農家の負担軽減や地域の活性化につながることを、大分市への UJI ターンのきっかけとなることを期待しています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大分市	担当部署 H28.3月まで 商工農政部 産業振興課 地域産業育成担当班 H28.4月より 農林水産部 農政課
(ふりがな) いわお よしとも 担当者氏名 岩尾 勝 友	TEL: 097-534-6111 (代表番号)
E-mail: sangyosinko2@city.oita.oita.jp	
URL: <a href="http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1389338556916/index.html">http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1389338556916/index.html</a>	
応募宛先 〒870-8504 大分市荷揚町2番31号 大分市役所産業振興課(農政課)援農かせ隊活動推進事業担当者 宛	

平成28年 月 日 現在

**募集地域参加申込書**



ふりがな  
1. お名前： ( 男・女 )

2. 生年月日：西暦 年 月 日 (出身地： )  
\* 都道府県で記入

3. (大学、大学院、専門学校等に在学の場合に記入)  
学校、学部名： ( )年

\* 学部、学科、専攻などを明記してください(在学中の方は学年も記入してください)。

研究テーマ等： \_\_\_\_\_

\* 卒論または現在研究中のテーマがある場合は記入してください。

4. 資格・特技・趣味など(選考の参考になりますので、体験内容に係るものは必ず記入してください。)

5. 自己PR

6. 住 所  
〒

連絡先：選考などに関して、募集地域などから連絡を行う場合があります。  
(『Eメール(携帯)』で、ドメイン指定受信を設定している場合、希望するNo.自募集地域からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。)

電話(自宅)： \_\_\_\_\_ Eメール(PC)： \_\_\_\_\_

電話(携帯)： \_\_\_\_\_ Eメール(携帯)： \_\_\_\_\_

ご記入いただいた内容は当事業以外の目的で使用しません。



## 小論文記入用紙

テーマ： インターン事業に期待すること 地域に対して自分が貢献できそうなこと

氏名： \_\_\_\_\_

インターン事業に期待すること

地域に対して自分が貢献できそうなこと（例、得意技、得意テーマ、体力、熱意など）

\* 各テーマ400字程度でまとめてください。

\* できるだけワープロ打ちをお願いします。（貼付又は別紙可）

**連絡先**

国土交通省 国土政策局 地方振興課

〒100 - 8918 千代田区霞ヶ関2 - 1 - 3

電話 : 03 - 5253 - 8404 FAX : 03 - 5253 - 1588

URL : [http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd\\_chisei\\_tk\\_000007.html](http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html)

